

2020

令和2年度  
学校要覧

National Institute of Technology, Toyama College

## 教育理念

創意・創造  
自主・自律  
共存・共生



上記校章は、学生・学校・地域の3者が互いに手を取り合っている様子を表現し、協力・交流・持続的  
社会といったメッセージがこめられています。組み  
合わさって表現される形は、アルファベットのTをイ  
メージ。これは、Think(考える)、True(真実)、  
Thank(感謝)の3つの英単語の頭文字であると同  
時に、これらを包み込む母体であるToyama(富山)の  
Tをあらわしています。

富山高等専門学校 校歌

われら未来へ

片岡 輝  
池辺晋一郎  
曲 詩

白銀の峰を仰ぎ

胸一杯に大地の息吹を吸いこむ

両腕を翼に空に羽ばたけば

母なる地球が丸い

自在に思いを巡らし

自由に夢を形にする

この学舎でともに手をとり

藍色の海のかなた

波のしぶきに未知なる世界を目指す

嵐に耐えて針路を守れば

暁を星影が招く

自ら省みて行い

自らに恥じなく生きる

この青春とともに悔いなく

遙かなる未来見つめ

広く世界と語らい平和をうたう

真理を極め技を磨けば

吹く風に春の花が香る

たしかなあしどりで進もう

学舎の誇りを胸に

この時代とともに支えて

## 目次 Contents

1 学校紹介	1
2 組織	10
3 学科紹介	12
4 専攻科紹介	27
5 教員名簿	30
6 ソリューションセンター	36
7 研究高度化推進センター	36
8 国際教育センター	37
9 入試広報センター	37
10 図書館情報センター	38
11 船舶運航センター	39
12 学生生活	40
13 地域社会との連携	44
14 研究活動	46
15 国際交流活動	47
16 財務状況	49
17 在学状況	51
18 進路状況	52



本郷キャンパス



射水キャンパス

# 1 学校紹介

## ■ 校長あいさつ



校長 たか まさ とも し  
賞 雅 寛 而

平素より富山高等専門学校のステークホルダーの皆様、すなわちご父母、同窓会そして富山県の各組織各企業の皆様には、本校の教育・研究に対し多大なご協力・ご支援をいただき、大変ありがとうございます。

我が国は世界に冠たる科学技術立国であり、四面を海に囲まれた海洋国家です。また富山県は歴史的に、北海道から長崎・琉球にわたる北前船の重要な中継港となってきた海洋県であり、この交易によって始まった製薬産業・科学産業そして立山連峰の水力エネルギー利用によって始まった素材加工産業を大きな二本柱とする我が国でも有数の工業県です。この科学技術・海洋の分野で「イノベーションを創出できる人材、グローバルな世界で活躍できる人材、そして社会に貢献できる人材」を育成し続けていくことは、我が国そして富山県の将来を導くための重要な課題となっています。

高等専門学校（高専）は、入学の15歳から本科卒業の20歳まで、あるいは専攻科修了の22歳までという高校・大学とは異なるスパンの教育を行いますが、長い人生の中で最も人間として成長するこの時期の若者に、基礎から応用に多くのステップを持つ理工系もしくは高度な専門教育を一貫して行うことは、我が国の科学技術・海洋分野の人材養成に非常に重要です。富山高等専門学校は、本科に機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科並びに電子情報工学科の工学系4学科と、文系の国際ビジネス学科、そして商船学科という幅広い教育分野の6学科を有する全国唯一の高専であり、本科に引き続く2年間の専攻科では、教育・研究の高度化のための7年一貫の教育を行っています。本科の卒業生の約半数が企業へ就職し、約半数が国立大学3年次への編入学、あるいは本校の専攻科へ進学しています。最近における本校卒業生、修了生の就職・進学実績は、他の高専だけでなく近隣の教育機関を大きく引き離しており、したがって本校は、国内51の高専のトップ校として、我が国及び世界で活躍する技術者、ビジネスパーソン、そして海事技術者を育てることを使命とする有数の高等教育機関になっています。

富山高等専門学校はよりその特質を生かして、学生の挑戦とコミュニケーションネットワーク形成をしっかりサポートし、学生が社会に飛び立てるもしくは次のステップに進める姿にする教育、関連の研究また社会貢献を一層充実すべく、教職員一同心に命じておりますので、どうぞ皆様のご指導ご鞭撻をよろしく賜りますようお願いいたします。

## ■ 本校の特質

富山高等専門学校は、富山工業高等専門学校（昭和39年設置）と富山商船高等専門学校（昭和42年設置）が、平成21年に高度化再編による統合により設置されました。工学系4学科（機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科）、全国では稀有の文系の国際ビジネス学科、東日本では唯一の商船学科という幅広い教育分野の本科6学科、そしてそれぞれの学科に引き続く専攻科を有する全国でも例のない高専です。国内有数の高等教育研究機関として、また国内57の高等専門学校の学術的・産業的研究分野のトップ校として、科学技術・海洋に関連する高度な研究者、北陸・我が国そして世界で活躍する技術者、ビジネスパーソン、及び海事技術者の育成を行っています。

## ■ 15歳からはじまるカレッジライフ

高等専門学校は、高等学校とは異なり、学校制度の中では大学と同じく「高等教育機関」として位置付けられています。例えるなら「中学校卒業から入れるカレッジ」で、「5年一貫教育」「くさび形教育」「実践的教育」という3つの大きな特徴があります。

## ■ 本校の強み・地理的特性

富山県は歴史的に、北前船の重要な中継港となってきた海洋県であり、この交易によって始まった製菓産業・化学産業、そして立山連峰のダムのエネルギー・水資源利用によって始まった素材加工産業を大きな二本柱とする我が国でも有数の工業県です。県内企業の多くは東南アジアを中心として広く支店網を持つ国際的企業であり、これらの企業の帰国子女の数も多いです。また、富山県の大学は、富山大学以下4つの4年制大学と2つの短期大学しかなく、県内高等教育機関としての本校の役割は極めて重要となります。

本校の多分野にまたがる15歳からの専門基礎教育（すなわちカレッジ教育）は、我が国の特に海事・ビジネスの分野において、そして富山県の人材供給要請に良く対応しており、それぞれの分野及び地域の産業界から高く評価されています（本校は「15歳からはじまるカレッジライフ」をキャッチコピーとしています）。このことは全国でもトップである高専サポート企業の数及び受託研究共同研究件数にも表れています。また、専攻科生を含めた地元就職率は全国高専中第4位であり、1～3位が東京・名古屋・大阪であることから、地方都市の高専としてはトップです。これらのことから地域産業界への貢献度は非常に高くなっています。

## ■ 本校の取り組み

### 1 学校マネジメントにおける取り組み

#### 1. 教育体制の整備

- ・教育体制整備推進委員会による教育体制改善の検討
- ・本科1年次混合クラスの実施
- ・主学科担当・副学科担当制度の検討及び他学科授業の実施
- ・授業の効率化による教員非補充への対応

#### 2. 両キャンパスのワンカレッジ化

- ・両キャンパスのクラブ活動の交流促進・対外試合の1チーム化
- ・両キャンパス校内行事の統一
- ・主要教員・事務職員の互いのキャンパス勤務（週1回・20名程度）
- ・両キャンパス報告書、印刷物の統一

#### 3. 入試広報の強化

- ・本科学力試験の志望学科枠の全学科への拡大
- ・県外入試広報の強化（カレッジガイド・ポスター・年賀状・卒業式電報・ステッカー・公用車/バスラッピング）
- ・入試広報、広報物、教育体制などへの学生会を主とした学生の積極的関与

#### 4. ダイバーシティ化

- ・海外戦略推進による帰国子女の受け入れ実施及び授業英語化の検討
- ・少子高齢化に伴う学生の多様化への対応（転学科申し合わせ整備、海外帰国子女への対応）、高学歴化への対応（専攻科の拡充・入試制度の見直し、大学の学部修士課程への進学指導体制の構築）
- ・国際化（シラバス英語版の作成、本科・専攻科授業の英語化の強化、留学生入学・海外インターンシップ（含む海外研修）の助成・拡充）、HP英語版の更新及び中国版の作成

#### 5. 地域連携と特色強化

- ・教員への研究支援（科研費申請A評価者に対する研究助成）
- ・地域産業界との一層の連携強化（教員・学生及び産業人の相互交流）
- ・人事委員会、財政委員会による人事評価、財務の明確化
- ・財政委員会による予算執行の適正化
- ・寄附金の使用適正化
- ・校内施設管理及びアメニティ整備強化

## 2 業務削減・効率化の取り組み

- 各種会議については、タブレット端末を利用することにより会議資料のペーパーレス化を図り、またキャンパス移動による教職員の負担をなくすために、Microsoft Teams等によるTV会議を実施しています。
- 年間保守等の委託業務は、スケールメリットを生かして両キャンパス分を一括して契約し、さらに複数年契約を行うことで契約業務の効率化を図っています。また、事務用パソコンは、必要台数を一括契約することで業務の削減及び契約金額の低廉化を図っています。更に本校の電力需要がピークとなる時間帯（冬期の16時～18時頃）においては、デマンド超過しそうな場合は組織的に機器を停止させるなどし、電力使用量を契約電力以下に抑える措置を講じています。
- 予算の執行については、財政委員会で定期的に経費執行状況の把握を行い、早期執行と適正使用を教職員に周知し、年度末に物品の納入等が偏らないよう図っています。
- 教員の部活動指導の負担軽減のため、部活動の技術指導や休日の大会等の引率を行うことができる課外活動指導員を採用し、教員の負担軽減を図っています。

## 3 学力向上・教育力向上の取り組み

### 学力向上

- 令和元年度に進学・就職指導室を新設し、就職活動の支援を行うとともに、進学者向けに補講を実施しています。
- 特命フェローを採用し、補講、キャリア教育を実施しています。
- 英語力向上のため、3、4年、専攻科1年生全員を対象にTOEIC IPテストを実施し、成績分析に基づく弱点強化対策や継続学習への動機づけ、進捗状況管理を実施しています。本事業に関しては、保護者後援会との連携強化により資金援助策を策定して一部実施しています。
- 数学、物理などの教科担当教員と専門学科との教科間連携を推進しています。
- 学生寮における学習会を実施しています。
- 6学科の1年生を対象に、異なる学科学生でチームを構成し、産業界と連携・協同して、多角的な視点から課題を発見、解決する力を涵養する授業（Ti-TEAM）を実施しています。
- 本部の教学マネジメントモデル校・とりまとめ校として、CBT（Computer Based Test）結果の教育への活用など教育の質保証に向けた取り組みを行っています。

### 教育力向上

- 学生生活指導を含めた教員の教育力を向上させるため、外部講師によるFD研修会を実施しています。
- 教員間の授業参観（ピアレビュー）を継続して実施しています。
- 学生による授業アンケートを継続して実施し、FD委員会でPDCAサイクルによりチェックしています。
- 令和2年度より全学科においてBYODを活用した教育の高度化や学校からの連絡の効率化を図っています。

## 4 原級留置・休学・退学者の改善に向けた取り組み

原級留置・休学・退学となる主な理由としては学力不振が考えられます。その背景は多岐にわたり、学科専門とのミスマッチ感、家庭の生活環境によるメンタルな問題などが挙げられます。本校は、教務指導、生活指導、寮生活指導など学校全体として改善を行っています。特に低学年学生の留年・休学・退学を可能な限り低減するよう、以下の取り組みを行っています。

### 具体的な取り組み

- 教科担当及び教務委員会主導による学力不振学生を対象とした補講を実施しています。
  - 朝のショートホームルームや出席確認時間を確保し、問題を抱える学生の早期発見体制を実施しています。
  - Web出席簿を整備し、リアルタイムに学生の出席状況を確認する仕組みを構築・運用しています。
  - 令和2年度より、1年生は混合クラスとして運営しています。
- 校内で学科を越えた人間関係を築かせ、学校になじみやすい環境の構築に努めています。
- 補習、追試験の実施方法や単位認定基準・進級要件の変更可能性などを検討・実施しています。
  - 各教科の未修得割合と科目平均点をグラフ化し、原級留置率や退学率との関係を分析しています。
  - 各教科の成績分布ヒストグラムを作成し、全教員に対して授業改善を働きかけています。
  - 教務委員会や自己点検評価委員会等において、現状のデータを共有し、改善に向けて検討を行っています。
  - 学生・保護者との連絡体制の強化を担任および学科長に依頼し、改善に努めています。
  - 未修得科目の単位追認試験を当該年度内に実施し、成績不振学生の学習を促しています。
  - 新入学生に対して高専手帳を配布し、学習を計画的に行うように指導しています。

## 5 研究力向上・地域との連携等の取り組み

研究力向上のため、長岡技術科学大学等との間で機器共用ネットワーク事業を実施するなど、他機関と連携した研究を推進しています。また、高専間では、第3ブロック（東海・北陸・関西地区）研究推進ボード、本校技術振興会と連携した研究推進フォーラムを開催し、第3ブロック専攻科研究フォーラムに参加しています。外部資金の獲得については、科研費申請の重要性を教員に認識させるため、科研費関連講習会を開催しているほか、採択率アップのため、本校独自の科研費申請調査システムを構築し申請書のブラッシュアップを行っています。また、科研費以外のJSTや財団等の外部資金についても公募情報を校内に積極的に発信しています。

一方、地域との連携については、国立高専最大級の会員数である富山高等専門学校技術振興会のイベントや、本校と共催するとやまKOSENコラボフォーラムにおいて、本校教職員、会員企業および本校学生のネットワーク構築を推進しています。この地域の支援を生かし、令和元年度からは会員企業42社を対象に、本科1年生全学生が企業の調査・資料作成プレゼンテーションを行う授業（Ti-TEAM）を実施しています。

## 6 同窓会との連携した取り組み

学校側からの同窓会への協力

- ・令和元年、本校は統合再編から10周年を迎え、この機会に統合高専としての新たな同窓会「富山高等専門学校同窓会」を設立しました。この新同窓会は統合後の卒業生を中心に組織され、旧富山工業高等専門学校の同窓会（ほんごう会）および旧富山商船高等専門学校の同窓会（北斗会）と連携を図りながら活動を行うこととし、学校と同窓会の窓口を一本化しました。

同窓会側からの学校への支援・協力

- ・富山高等専門学校同窓会には、式典や諮問委員会等の学校行事、保護者会・学生会との情報交換会への参画をいただいているとともに、以下の支援・協力をいただいています。
  - (1) 課外活動、課外行事への資金援助
  - (2) 同窓会支部（北海道、東北、関東、新潟、関西）を通じた遠隔地での入試広報活動（パンフレット配布）
  - (3) 本校の教育研究、学生の就職を支援する組織（富山高等専門学校技術振興会や一般社団法人全日本船舶職員協会等）への協賛
  - (4) 練習船の代船建造推進に係る活動への参画
  - (5) 海外からの帰国子女・留学生の本校への入学促進を目的とした、海外在住の同窓生のネットワークの構築

## 7 教育の国際化への取り組み

教育の国際化のため、国際教育センターを設置し積極的に教育の国際化に取り組んでいます。同センターは海外の協定締結機関（15件）を有効に活用し、各学科・専攻科と共同して以下の事業を行っています。

- ・学生の海外派遣  
2週間程度の海外企業へのインターンシップや1ヶ月の海外大学でのアカデミックインターンシップ、半年・1年の留学等を行っています（令和元年度計27名）。更に、学生の国際会議での発表を推進するための取り組みについて、検討を行っています。また、トビタテ！留学JAPANへの応募、採択数向上を目指していますが、これまで高校生コースにおいて、5名（2期）、4名（3期）、2名（4期）、7名（5期）と高い採択の実績があり、大学生コースにおいても継続的に1名（4期）、1名（5期）、2名（6期）の採択された実績があります。
- ・短期留学生受入  
シンガポール・タイから滞在期間2～3ヶ月の短期留学生を受入れ、キャンパスや寮に常に短期留学生がいる環境を作り出しています（令和元年度計19名）。留学生との交流を通じ、学生に国際的な感覚を身につけさせるよう努めています。
- ・教員の派遣  
海外協定校をはじめ、各種国際シンポジウムへの参加を促しています（令和元年度40名派遣）。また1～2ヶ月の期間、研究活動等を行うため海外協定校に本校の独自事業として教員を派遣しています（令和元年度は1名派遣予定であったが、コロナウィルスの影響のため中止）。教員の研究力の向上と合わせて、学生教育への還元を目指しています。
- ・海外教員の受入  
国際シンポジウムや研究推進フォーラムを定期的に関催し、招聘した海外研究者が専攻科学生の研究発表にアドバイスをする等、学生教育の高度化を図っています。

## 8 男女共同参画推進のための取り組み

学生募集にあたっては、女子学生が学びやすい環境が整えられていること、女子学生の卒業後の進路先の実績があることを強調しています。文系学科である国際ビジネス学科の女子学生割合が非常に高いことが、他の工学系学科の女子学生増にも影響しており、女子学生比率・女子学生数ともに全国高専の中ではトップになっています。また女性教授の数は多いのですが、助教・講師の女性教員が少ないため、教員採用に関しては、ダイバーシティの観点から多様な人材を求めていることを明記し、積極的に女性を採用しています。

施設面では、女子トイレを中心に学校施設や学生寮の改修・利用形態の改善を計画的に進めています。

運用面では、従来の学科での指導に加えて、混合学級を導入し、1年生から女子学生のプレゼンスをあげるような学習・生活指導を行うなど、女性の意欲的な姿勢を評価し、責任ある立場で働けるように配慮しています。

## 9 危機管理(情報セキュリティ・学生の事故防止)への取り組み

- ・緊急Teamsネットワーク(校長、副校長、事務部長他関係者)を設置し、新型コロナウイルス感染対策等について夜間・休日に、自宅等学外からの会議を開催しています。また、夜間や休日に関係者が自宅等からHP掲載情報を更新し、学生・教職員への緊急周知を行っています。
- ・情報セキュリティについては、インシデント発生時の連絡フロー・手順ならびに時間外勤務をサポートする体制を整備し、連絡フロー・手順について、実際に時間外に発生したインシデントにおいて実効性を確認しています。
- ・複写機に備わるスキャンデータのメール送信機能を無効化し、スキャンデータが意図せず学外に送信されないように運用を変更し、無効化したメール送信機能の代替として、学内ストレージに利用者別にスキャンデータを格納する仕組みを整備しています。
- ・学生の事故防止については、専属のカウンセラーを2名雇用する等、学生相談体制を拡充しています。教職員及び各種専門人材が全校的チームを組み、学内主要個所にウェブカメラを増設するとともに本校学生ひとりひとりを見守る体制を構築・運用しています。
- ・重大な災害・事故等緊急時において速やかに情報発信が行えるようオンライン緊急連絡システムを構築しています。同システムには全教職員、学生及び保護者が携帯電話メールアドレス等を登録しています。また、学校は送信した電子メールの開封状況を確認できるようになっており、教職員、学生等の安否確認にも活用しています。
- ・平成30年度からWeb出席簿を導入し、関係者が随時学生の出席状況を確認できるようにしています。
- ・令和2年度から情報セキュリティレベルの維持向上のため、機構Office365および本校メールについて、全教職員に多要素認証を導入しました。

## 10 混合学級およびBYOD(Bring Your Own Device)の取り組み

混合学級：本郷キャンパス(平成31年4月1日～) 機械システム工学科 電気制御システム工学科 物質化学工学科  
射水キャンパス(令和2年4月1日～) 電子情報工学科 国際ビジネス学科 商船学科

- ・各キャンパスにおいて、1学年時は3学科混合の学級編成を行っています。なお、2学年以降は学科別学級編成となります。混合学級の実施により、男女比や学科間の学力格差を緩和し、基礎学力の充実を図っています。また、学科の枠を超えた人間関係の構築も目的としており、2年生以降の学業生活、卒業後の人間関係など、様々な教育効果があります。

BYOD(Bring Your Own Device)

- ・本校では、電子情報工学科において平成8年から学生に可搬型PCを購入・持参させ、授業・実習を実施していましたが、令和2年4月入学生より全学科に展開し、普段の授業や連絡に活用しています。(「自分の端末を持参する」という意味で、BYOD: Bring Your Own Device と呼ばれています。) 授業・自習での活用を通じた教育の高度化や、学校からの連絡の効率化等を行っています。

## 11 新型コロナウイルス感染症対策としての取り組み

本校では新型コロナウイルス感染症対策として、入学式の取り止め後、4月7日(火)から10日(金)まで部分登校・遠隔授業の試行、13日(月)から全校在宅による遠隔授業、6月8日(月)から全校対面授業の開始し、基本的に授業の空白期間は作らないようにしました。以降、感染症対策を継続しながら授業を継続しています。

感染症対策のために緊急対応したものでしたが、本取り組みを通じて新たな授業形態を模索することによって各教員の授業改善が促進され、教育力向上につながっています。

## ■ 本校の教育目標

### 1 「専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人材の育成」

高等専門学校は、「実践的・専門的な知識・技術を有する創造的な人材の育成」です。この目的に沿って、学生の一人ひとりの希望と社会のニーズに適合した人材、特に地域産業界において研究開発やビジネスをリードできる人材の育成に努めます。

### 2 「自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成」

社会で専門知識・技術を活かすには、自分の考えを人に伝え、周囲の協力を得ながら行動することが重要です。そのため、まず自分の頭で考えることのできる創意工夫の態度を持った人材、さらに主体性を持って行動することのできる人材の育成に努めます。

### 3 「豊かな教養と倫理観を有し、他者や地球との共生の精神を有した人材の育成」

研究開発やビジネスをリードするには、技術やビジネスが社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、技術者やビジネスパーソンが社会に負っている責任について認識することが重要です。そのため、技術者倫理を尊重し、また自然や地球との共生の精神を持った人材の育成に努めます。

## ■ 準学士課程(本科) アドミッションポリシー (求める学生像および入学者選抜の基本方針)

本校では、環日本海地域を中心とした地球的な視点に立ち、充実した教養教育や実践的な専門教育により、学生一人ひとりの個性を尊重し、専門知識・技術を身につけ、その能力を育成することを目指しています。

このような方針に基づき、各学科では人・社会・自然・環境に思いやりのある、次のような学生を求めます。

### 機械システム工学科

#### 求める学生像

- 1 機械・構造物、機械システムに興味がある人
- 2 想像力豊かな機械技術者になりたい人
- 3 エネルギーからリサイクルまでのシステムを創造し、社会に貢献したい人

### 電子情報工学科

#### 求める学生像

- 1 ものづくりが好きでコンピュータに興味がある人
- 2 情報、電子、通信の総合技術を身につけたい人
- 3 自ら考えて行動できるエンジニアになって、社会に貢献したい人

### 電気制御システム工学科

#### 求める学生像

- 1 電子工作や機械工作などのものづくりに興味がある人
- 2 ロボット技術のように電気、機械、情報技術を融合した知識を身につけたい人
- 3 創意工夫により新しい技術を作り出し、社会に貢献したい人

### 国際ビジネス学科

#### 求める学生像

- 1 外国語や異文化に興味がある人
- 2 ビジネス分野の知識を身につけたい人
- 3 国際的な視野をもって社会で活躍したい人

### 物質化学工学科

#### 求める学生像

- 1 化学の世界に興味を持っている人
- 2 地球と人にやさしいものづくりをしたい人
- 3 持続的社会的構築に貢献したい人

### 商船学科

#### 求める学生像

- 1 海や自然が好きな人
- 2 大型船の船長や機関長をめざす人
- 3 大きな機械のエンジニアをめざす人
- 4 世界中の国々で活躍したい人

#### 選抜の基本方針

##### 推薦による選抜 (全学科共通)

推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。

##### 学力検査による選抜 (全学科共通)

中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。

学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科とします。

##### 帰国子女特別選抜

(機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科及び商船学科)

中学校における調査書、学力検査及び面接の結果を総合して選抜します。

学力検査は、理科、英語、数学及び国語の4教科とします。

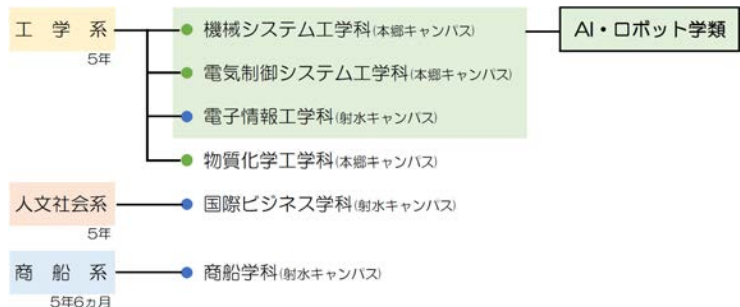
##### (国際ビジネス学科)

中学校における調査書、学力検査、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。

学力検査は、英語、数学及び社会の3教科とします。

## ■ AI・ロボット学類

機械システム工学科、電気制御システム工学科、電子情報工学科の3学科で「AI・ロボット学類」を構成します。ここでは、機械工学、電気電子工学、情報工学の知識を融合して、AIおよびロボットに関する専門的技術が学べます。





## ■専攻科アドミッションポリシー

本校専攻科では、幅広い豊かな教養と高度な専門知識を有する人材の育成を目指しています。このような方針に基づき、専攻科では次のような学生を求めています。

### 求める学生像（専攻科共通）

- 1 専門の基礎学力をさらに深め、実践力と複眼的な視野を有するデザイン能力を身につけたい人
- 2 研究・開発能力を身につけたいと考え、自主的、継続的に努力できる人
- 3 社会人としての倫理を尊重し、グローバルな視野を有する専門家として貢献したい人

### 推薦による選抜

推薦書、調査書および面接検査（口頭試問を含む）の結果を総合して判定します。

### 学力検査による選抜

（エコデザイン工学専攻・制御情報システム工学専攻・海事システム工学専攻）

入学者の選抜は、学力検査（英語（TOEICスコアによる換算）、数学）と調査書及び面接検査（専門科目に関する口頭試問を含む）の結果を総合して判定を行います。

（国際ビジネス学専攻）

入学者の選抜は、学力検査（英語（TOEICスコアによる換算）、小論文）と調査書及び面接検査（専門科目に関する口頭試問を含む）の結果を総合して判定を行います。

### 社会人特別選抜

学力検査（英語（TOEICスコアによる換算）、調査書及び面接検査（口頭試問を含む）の結果を総合して判定を行います。面接においては、受験者が専攻科入学後に行いたい研究、もしくはそれに関連する実務経験について、5分程度のプレゼンテーションを行い、その発表内容に関連した事項についての口頭試問を課します。

### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

専門技術と知識を体系的に修得するため、各専攻希望の学生は、原則として次の学科を卒業又は卒業見込みの者、又は同等の内容のカリキュラムを実施している学科で学修した者とします。

- ・エコデザイン工学専攻：機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科
- ・制御情報システム工学専攻：電子情報工学科
- ・国際ビジネス学専攻：国際ビジネス学科
- ・海事システム工学専攻：商船学科

高専本科で開講されている一般教養科目および専門科目ともに重要ですので、同等の基礎学力をきちんと習得してください。特に、学力検査で課している科目においては、入学後の各専攻における講義・演習・実験および研究の基礎として非常に大切ですので、しっかりと学び、身につけてください。

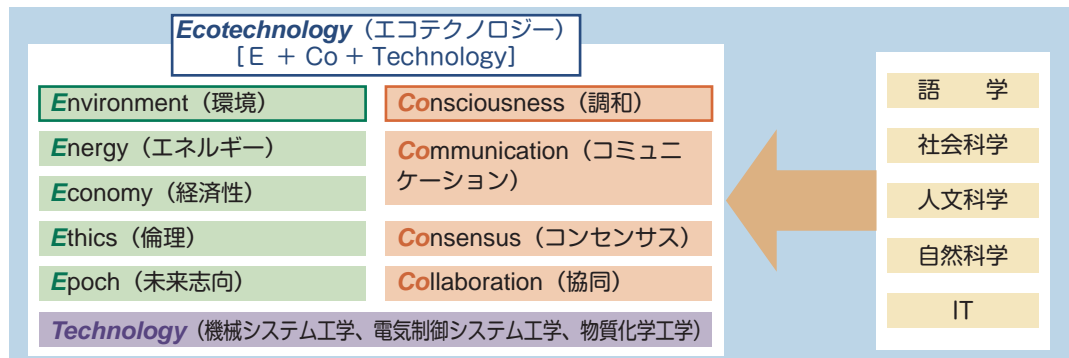
## ■技術者教育プログラム

本校専攻科の「エコデザイン工学専攻」及び「制御情報システム工学専攻」では、以下の技術者教育プログラムを設定しています。

それぞれの専攻に入学した学生は、各教育プログラムの履修者となります。各プログラムの内容及び学位取得を含む修了要件等、詳しくはそれぞれのキャンパスのホームページでも紹介しています。

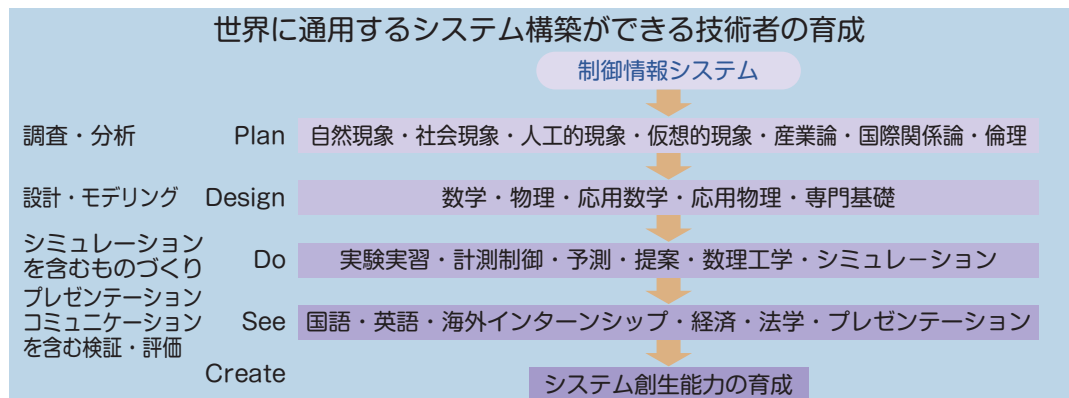
### エコデザイン工学プログラム

エコデザイン工学専攻では、機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科3学科の4、5年と専攻科エコデザイン工学専攻を複合した「エコデザイン工学」教育プログラムを設定しています。



### 制御情報システム工学プログラム

制御情報システム工学専攻では、電子情報工学科4、5年生からの一貫した「制御情報システム工学」教育プログラムを設定しています。



## ■教育システムに関する外部（第三者）評価

### 1 大学改革支援・学位授与機構による認証評価

高等専門学校は、教育研究等の状況について、一定期間ごとに文部科学大臣から認証を受けた評価機関による評価（認証評価）を受けることが義務付けられています。

富山商船高等専門学校では平成17年度に、また、富山工業高等専門学校では平成19年度に高等専門学校機関別認証評価を受審し、高等専門学校評価基準を満たしていることの認定を受けています。なお、統合後は平成28年度に受審し、認定を受けています。

認証評価は、

1. 大学改革支援・学位授与機構が定める高等専門学校評価基準に基づいて、高等専門学校を定期的に評価することにより、教育研究活動等の質を保証すること。
2. 評価結果を各高等専門学校にフィードバックすることにより、各高等専門学校の教育研究活動等の改善に役立てること。
3. 高等専門学校の教育研究活動等の状況を明らかにし、それを社会に示すことにより、公共的な機関として高等専門学校が設置・運営されることについて、広く国民の理解と支持が得られるよう支援・促進していくこと。

を目的として実施されており、本校の教育研究活動等の状況を社会に積極的に提供するため、評価報告書（評価結果）及び自己評価書がホームページ上で公表されています。

### 2 大学改革支援・学位授与機構による専攻科に関する審査

本校は、6学科に対応する4専攻（エコデザイン工学専攻、制御情報システム工学専攻、国際ビジネス学専攻、及び海事システム工学専攻）からなる専攻科を設置しています。専攻科の教育システムは、5年間に一度、大学改革支援・学位授与機構による審査を受けることになっており、本校専攻科は、統合した平成21年度に審査を受け、認定されました。

エコデザイン工学専攻、制御情報システム工学専攻、国際ビジネス学専攻、及び海事システム工学専攻の4専攻が大学改革支援・学位授与機構から学士の学位の授与に係る特例の適用認定を受けています。これにより、エコデザイン工学専攻、制御情報システム工学専攻、及び海事システム工学専攻は、平成26年度入学生から、国際ビジネス学専攻は、平成27年度入学生から、当該専攻の最終学年に在学し、当該学年末に修了の見込み者が行う学士の学位の授与申請については、学修成果に関する試験が免除され、提出書類が簡略化されています。

※特例の適用認定とは、「短期大学及び高等専門学校の専攻科の認定に関する規則」第2条の規定に基づき認定された専攻科「認定専攻科」という。）のうち、「学位規則第6条1項の規定に基づく学士の学位の授与に係る特例に関する規則」に定める要件を満たせば、学士の学位の授与に係る特例の適用認定を受けた専攻科（「特例適用専攻科」という。）になることです。

### 3 商船学科のSTCW教育機関としての認定審査

商船学科の教育プログラムは、卒業時の海技士資格（国際標準）取得を目指すものとなっており、教育プログラムについては、5年に一度、国土交通省による審査を受けています。国土交通省は、日本の船舶職員教育機関の教育プログラムがSTCW（Standards of Training, Certification and Watchkeeping for Seafarers）条約を満たしていることを審査・認定し、IMO（国際海事機関）に報告しています。富山高等専門学校の商船学科は、このSTCW条約に基づく資質基準制度により、適正な船舶職員養成機関として認定されています。

## ■ 本校の沿革

### 旧 富山工業高等専門学校

- 昭和39年 4月 富山工業高等専門学校設置（機械工学科、電気工学科、工業化学科）
- 昭和44年 4月 金属工学科設置
- 平成元年 4月 工業化学科を物質工学科に改組
- 平成5年 4月 専攻科設置（機械・電気システム工学専攻、機能材料工学専攻）
- 平成6年10月 富山工業高等専門学校創立30周年記念エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウム－富山'94開催
- 平成7年 4月 金属工学科を環境材料工学科に改組
- 平成16年 4月 独立行政法人移行（独立行政法人国立高等専門学校機構設置）
- 平成17年 5月 JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定（「エコデザイン工学」プログラム）
- 平成19年10月 第14回エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウムを大韓民国 慶熙大学校において開催（主催：国立高等専門学校機構 主管：富山工業高等専門学校）
- 平成19年11月 財団法人地球環境戦略研究機関 持続性センターによるエコアクション21 認証・登録
- 平成20年 3月 独立行政法人大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定

### 旧 富山商船高等専門学校

- 明治39年 7月 新湊町立新湊甲種商船学校創立
- 明治42年 4月 富山県へ移管、富山県立商船学校となる
- 昭和14年 8月 文部省へ移管、富山商船学校となる
- 昭和17年 1月 逓信省所管となる
- 昭和18年11月 運輸通信省所管となる
- 昭和20年 5月 運輸省所管となる
- 昭和26年 4月 文部省へ移管、富山商船高等学校となる
- 昭和42年 6月 富山商船高等専門学校となる（航海学科、機関学科）
- 昭和44年 4月 現在地（新湊市海老江練合）に移転 航海学科1学級増
- 昭和60年 4月 航海学科2学級を1学級に改組及び情報工学科を設置
- 昭和63年 4月 航海学科及び機関学科を商船学科（航海コース、機関コース）に改組及び電子制御工学科を設置
- 平成8年 4月 国際流通学科設置
- 平成16年 4月 独立行政法人移行（独立行政法人国立高等専門学校機構設置）
- 平成17年 4月 専攻科設置（海事システム工学専攻、制御情報システム工学専攻）
- 平成18年 3月 独立行政法人大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定
- 平成18年10月 創立100周年記念式典を挙げる
- 平成21年 4月 JABEE(日本技術者教育認定機構)の認定（「制御情報システム工学」プログラム）

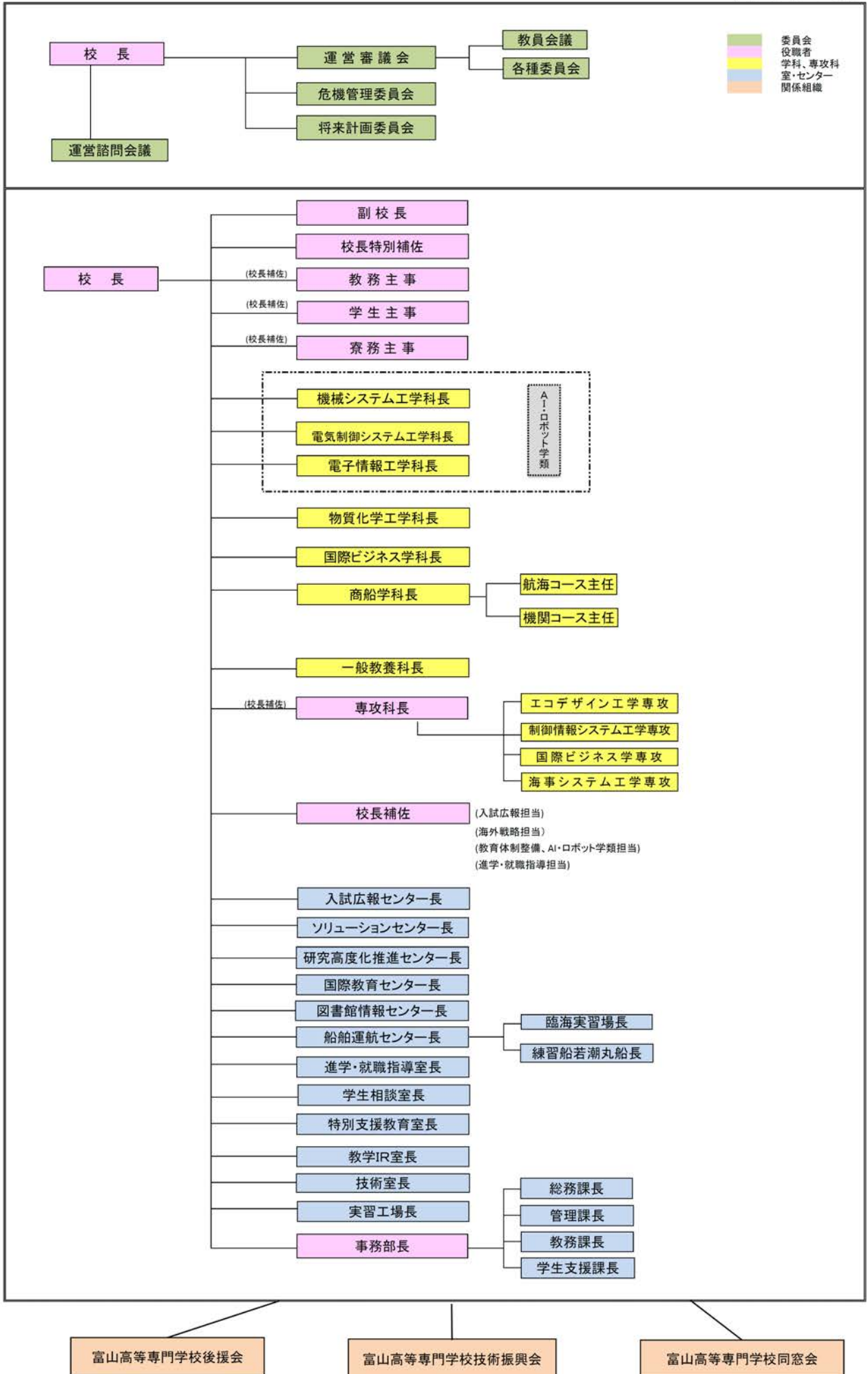
### 富山高等専門学校

- 平成21年10月 富山高等専門学校設置（機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科、国際ビジネス学科、商船学科及び専攻科）
- 平成22年 4月 新学科生、専攻科生受入
- 平成27年 3月 第1回卒業式、修了式挙げる
- 平成27年10月 創立50周年・創基110周年記念式典を挙げる
- 平成29年 3月 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定
- 令和元年 6月 統合10周年記念式典を挙げる

# 2 組織

## 組織図

令和2年9月15日現在



## ■ 役職者名簿

校長	賞 雅 寛 而
副校長（総務担当）	柴 田 博 司
副校長（教育担当）	水 谷 淳之介
副校長（ワンカレッジ化・働き方改革担当）	高 熊 哲 也
教務主事（校長補佐）	高 田 英 治
教務主事（校長補佐）	塚 田 章
学生主事（校長補佐）	佐 瀬 直 樹
学生主事（校長補佐）	梅 伸 司
寮務主事（校長補佐）	日 比 端 洋
寮務主事（校長補佐）	楽 山 進
校長補佐（入試広報担当）	河 合 孝 恵
校長補佐（海外戦略担当）	袋 布 昌 幹
校長補佐（教育体制整備、AI・ロボット学類担当）	西 敏 行
校長補佐（進学・就職指導担当）	青 山 晶 子

学科等	
機械システム工学科長	高 橋 勝 彦
電気制御システム工学科長	浦 風 和 裕
物質化学工学科長	津 森 展 子
電子情報工学科長	小 熊 博
国際ビジネス学科長	松 原 義 弘
商船学科長	山 本 桂 一 郎
航海コース主任	笹 谷 敬 二
機関コース主任	保 前 友 高
一般教養科長	寺 崎 由 紀 子
主任	森 田 康 文
主任	山 本 有 希

専攻科	
専攻科長（校長補佐）	阿 蘇 司

入試広報センター	
入試広報センター長	河 合 孝 恵

ソリューションセンター	
ソリューションセンター長	宮 重 徹 也

研究高度化推進センター	
研究高度化推進センター長	井 上 誠

国際教育センター	
国際教育センター長	古 山 彰 一

図書館情報センター	
図書館情報センター長	椎 名 徹

船舶運航センター	
船舶運航センター長	水 谷 淳之介
臨海実習場長	中 谷 俊 彦
練習船若潮丸船長	金 山 恵 美

進学・就職指導室	
進学・就職指導室長	青 山 晶 子

学生相談室	
学生相談室長	宮 崎 真 矢

特別支援教育室	
特別支援教育室長	水 谷 淳之介

教学IR室	
教学IR室長	高 田 英 治

技術室	
技術室長	水 本 巖

実習工場	
実習工場長	早 川 幸 弘

事務局	
事務部長	富 田 和 宏
総務課長	新 木 裕 一
管理課長	松 田 義 弘
教務課長	新 井 浩 浩
学生支援課長	麻 草 歆

## ■ 教職員の現員

教職員等数		令和2年5月1日
教 員	校 長	1
	教 授	51
	准 教 授	47
	講 師	11
	助 教	6
	助 手	1
	小 計	117
職 員	事 務 職 員	62
	技 術 職 員	23
	小 計	85
合 計		202
特 命 フ ェ ロ ー		3

所属別教員数		
学 科 等	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	11
	電 気 制 御 シ ス テ ム 工 学 科	15
	物 質 化 学 工 学 科	15
	電 子 情 報 工 学 科	13
	国 際 ビ ジ ネ ス 学 科	11
	商 船 学 科	15
	一 般 教 養 科（本郷）	15
	一 般 教 養 科（射水）	14
	セ ン タ ー 専 任	3
	練 習 船 若 潮 丸	4
合 計		116
特 命 フ ェ ロ ー		3

## 3 学科紹介

### ■ 機械システム工学科

# 「機械」で未来を動かそう！

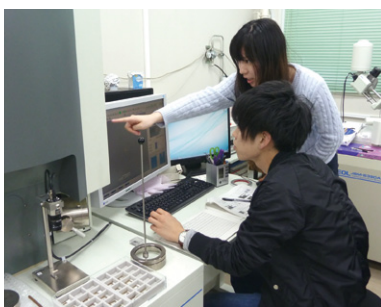
世の中にまだ無いものを作ることに興味はありませんか？

人の役に立つものを作ることに興味はありませんか？

製作することが困難であればあるほど、できた時の達成感は大きくなります。

一緒に「機械の英知」で未来を動かしてみませんか。

そのような学生を私たちは待っています。



## 機械システム工学科

### 教育目標

ものづくりや生産技術の基盤となる機械工学の知識を総合的に身につけ、機器設計、技術開発等を手がける技術者を育成します。

機械とシステム、機械材料、設計と生産、ダイナミクス、エネルギー、計測と制御に関する知識と、それらを問題解決に応用できる技術者を育成します。

機械工学的に考察する能力を身につけ、基礎からシステム構築までの総合的な見地から、新技術や新材料の開発・応用へと展開できる創造性・探究心豊かな技術者を育成します。

# Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	ものづくり基礎工学実験	3	3					
	技術者倫理入門	1	1					
	情報基礎	1	1					
	工業力学Ⅰ	1		1				
	工作実習Ⅰ	1		1				
	基礎工学実験Ⅰ	1		1				
	基礎材料工学Ⅰ	1			1			
	材料力学Ⅰ	1			1			
	熱力学Ⅰ	1			1			
	工作実習Ⅱ	2			2			
	基礎工学実験Ⅱ	2			2			
	流体工学Ⅰ	1				1		
	基礎研究	1				1		
	システム工学実験Ⅰ	1				1		
	システム工学実験Ⅱ	1				1		
	安全工学	1					1	
システム工学実験Ⅲ	1					1		
卒業研究	12					12		
計	33	5	3	7	4	14		
選択科目	工業力学Ⅱ	1		1				
	工業力学演習	1		1				
	機械製図	2		2				
	実践ものづくり工学	1		1				
	情報処理解	1		1				
	エネルギー機械	1			1			
	応用物理Ⅰa	1			1			
	応用物理Ⅰb	1			1			
	基礎材料工学Ⅱ	1			1			
	材料力学Ⅱ	1			1			
	製造と加工Ⅰ	1			1			
	機構学	1			1			
	設計製図	1			1			
	情報処理解Ⅱ	1			1			
	熱力学Ⅱ	2				2		
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	電気・電子回路	1				1		
	機械計測工学	1				1		
	材料力学Ⅲ	1				1		
	システム設計	1				1		
	実用技術英語Ⅰ	1				1		
	製造と加工Ⅱ	1				1		
	鉄鋼材料	1				1		
	材料分析工学	1				1		
	流体工学Ⅱ	1				1		
	非鉄金属材料	1				1		
	機械力学	1				1		
	プログラミング基礎	1				1		
	応用数学Ⅲ	1				1		
	応用物理Ⅱ	1				1		
	材料プロセス	1				1		
	伝熱工学	1				1		
	反応熱力学	2				2		
要素設計	1				1			
インターンシップ	2				2			
制御工学Ⅰ	1					1		
材料物性Ⅰ	1					1		
実用技術英語Ⅱ	1					1		
環境強度Ⅰ	1					1		
シミュレーション工学	1					1		
生産・品質管理	1					1		
応用数学Ⅳ	1					1		
振動工学	2					2		
材料物性Ⅱ	2					2		
環境強度Ⅱ	1					1		
有機材料	1					1		
流体機械	1					1		
熱機	1					1		
制御工学Ⅱ	1					1		
強度設計	1					1		
製造と加工Ⅲ	1					1		
応用プログラミング	1					1		
材料強度学	1					1		
機械システム工学特論	1					1		
英語プレゼン	2					2		
修得すべき単位数		82単位以上						

# 電気工学と機械工学の融合 夢のようなテクノロジーを実現できるエンジニアへ

電気、機械、情報の3分野をバランスよく学び、  
実験・実習を通して、  
それぞれの分野にまたがる応用力を身につけた  
実践的な技術者を育成します。  
卒業後は、電気技術者、機械技術者、または、それらを融合した  
ロボットなどを開発する技術者など、幅広い進路の選択が可能です。



## 電気制御システム工学科 教育目標

電気、機械、情報工学を総合的に身につけ、創造的な技術開発ができる技術者を育成します。

工学の柱である電気と機械の専門知識を統合し、活用できる技術者を育成します。

電気工学的、機械工学的に考える能力を身につけ、数学、物理、化学に基づいた、「ものづくり」ができる技術者を育成します。



# Curriculum

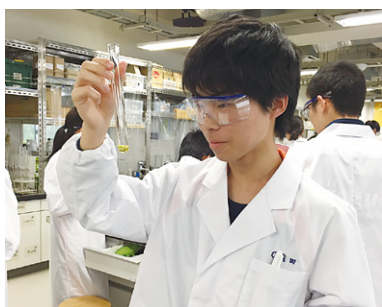
科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	ものづくり基礎工学実験	3	3					
	技術者倫理入門	1	1					
	情報基礎	1	1					
	基礎電気工学	2		2				
	情報処理	2		2				
	設計製図Ⅰ	2		2				
	ものづくり工学	1		1				
	基礎工学実験	2		2				
	システム工学実験Ⅰ	2			2			
	システム工学実験Ⅱ	2				2		
	基礎研究	1				1		
	システム工学実験Ⅲ	1					1	
卒業研究	12					12		
計	32	5	9	2	3	13		
選択科目	応用物理Ⅰ	1			1			
	電気磁気学Ⅰ	2			2			
	電気回路Ⅰ	2			2			
	電子回路Ⅰ	1			1			
	コンピュータサイエンス	2			2			
	設計製図Ⅱ	1			1			
	設計製図Ⅲ	1			1			
	工業力学	2			2			
	メカトロ基礎工学	2			2			
	計測工学Ⅰ	1			1			
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	応用数学Ⅲ	1				1		
	応用物理Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅲ	1				1		
	工業英語Ⅰ	1				1		
	電気磁気学Ⅱ	1				1		
	電気磁気学Ⅲ	1				1		
	電気回路Ⅱ	2				2		
	電気回路Ⅲ	1				1		
	電気機械Ⅰ	2				2		
	電子回路Ⅱ	1				1		
	電子回路Ⅲ	1				1		
	計算機システムⅠ	1				1		
	計算機システムⅡ	1				1		
	制御工学Ⅰ	1				1		
	制御工学Ⅱ	1				1		
	流体力学Ⅰ	1				1		
	熱力学Ⅰ	1				1		
	機械工法	1				1		
	材料力学Ⅰ	2				2		
	材料力学Ⅱ	1				1		
	メカトロ創造設計AⅠ	1				1		
	メカトロ創造設計AⅡ	1				1		
	メカトロ創造設計BⅠ	1				1		
	メカトロ創造設計BⅡ	1				1		
	インターシップ	2				2		
	応用数学Ⅳ	1					1	
	工業英語Ⅱ	1					1	
	電気材料	2					2	
	電気機械Ⅱ	2					2	
	パワーエレクトロニクス	1					1	
電子工学Ⅰ	1					1		
電子工学Ⅱ	1					1		
通信工学	2					2		
計測工学Ⅱ	1					1		
制御工学Ⅲ	1					1		
シミュレーション工学	2					2		
システム工学	1					1		
ロボット工学Ⅰ	1					1		
ロボット工学Ⅱ	1					1		
機械力学Ⅰ	2					2		
機械力学Ⅱ	2					2		
流体力学Ⅱ	1					1		
熱力学Ⅱ	1					1		
CAD/CAM工学	2					2		
材料工学	2					2		
英語プレゼン	2				2			
修得すべき単位数	82単位以上							

# 化学のおもしろさと出会いながら 実験を通して確かな技術と知識を

化学・生物化学を中心とした学科です。

有機化学・無機化学・生物化学を代表とする中心的基礎科目は講義と実験の二本立ての授業を行うことにより確かな知識と基礎的技術が修得できます。

さらにナノマテリアル・生命科学・環境技術等に関する最先端の知識と技術を修得することにより、化学・医薬品工業分野で活躍できる技術者としての未来が開けます。



## 物質化学工学科 教育目標

化学・生物化学を基礎として、ナノマテリアル・機能性材料・高分子材料・エコテクノロジー等の幅広い分野に関する知識と最先端技術に関する深い知識を備えた技術者を育成します。

環境に配慮した有機・無機材料やエネルギー関連物質および環境保全技術の開発・改良を自ら企画・実行できる能力と高い技術者倫理を身につけた技術者を育成します。

地域の重要産業である化学・医薬品工業および高分子工業の発展と持続的社會構築および環日本海環境の保全・改善に貢献できる技術者を育成します。

# Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	物質化学基礎実験	3	3					
	技術者論入門	1	1					
	情報基礎	1	1					
	分析化学実験	3		3				
	有機化学実験	2			2			
	無機化学実験	2			2			
	物理化学実験	2			2			
	特別実験	1			1			
	化学工学実験	2				2		
	生物化学実験	2				2		
基礎研究	1				1			
卒業研究	12					12		
計	32	5	3	7	5	12		
選択科目	有機化学Ⅰ	1		1				
	有機化学Ⅱ	1		1				
	無機化学Ⅰ	2		2				
	分析化学Ⅰ	1		1				
	生物物理学	1		1				
	情報処理解Ⅰ	1		1				
	有機化学Ⅲ	1			1			
	分析化学Ⅱ	1			1			
	基礎化学工学	2			2			
	基礎生物化学	2			2			
	無機化学Ⅱ	1			1			
	無機化学Ⅲ	1			1			
	物理化学Ⅰ	2			2			
	情報処理解Ⅱ	1			1			
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅰ	1				1		
	応用物理Ⅱ	1				1		
	有機化学Ⅳ	1				1		
	有機化学Ⅴ	1				1		
	無機化学Ⅳ	1				1		
	化学工学Ⅰ	1				1		
	化学工学Ⅱ	1				1		
	生物化学Ⅰ	1				1		
	生物化学Ⅱ	1				1		
	物理化学Ⅱ	1				1		
	物理化学Ⅲ	1				1		
	材料工学Ⅰ	1				1		
	機器分析Ⅰ	1				1		
	機器分析実験	2				2		
	化学英語	2				2		
	高分子化学Ⅰ	1				1		
	分子生物学	1				1		
	遺伝子工学	1				1		
	インターンシップ	2				2		
	反応工学	1					1	
	先端化学Ⅰ	2					2	
	先端化学Ⅱ	2					2	
	材料工学Ⅱ	1					1	
	応用物理Ⅲ	1					1	
	応用物理Ⅳ	1					1	
	有機工業化学	2					2	
無機工業化学	2					2		
高分子化学Ⅱ	1					1		
化学工学Ⅲ	1					1		
応用微生物学	1					1		
薬理学	1					1		
機器分析特論	1					1		
工コマテリアル	1					1		
機器分析Ⅱ	1					1		
C A D	1					1		
品質管理	1					1		
安全工学	1					1		
環境科学	1					1		
生体触媒工学	1					1		
英語プレゼン	2					2		
修得すべき単位数	82単位以上							

# 近未来ネットワーク社会を支える 電子情報技術のスペシャリストに

実習や演習を多く取り入れた実験重視型教育で  
ソフトウェア、電子工学、通信ネットワークについて体系的に学び、  
「自ら考えてものをつくる」ための  
総合的な専門知識技能を身につけます。  
デジタル技術の明日を担う技術者を育成します。



## 電子情報工学科 教育目標

システムからアプリケーションまでの総合的なプログラムが設計開発できる技術者を育成します。

センサからインターフェイスを含む電子回路設計ができる技術者を育成します。

プログラムや回路を有機的に結びつけるネットワーク設計ができる技術者を育成します。

# Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	ものづくり基礎工学実験	3	3					
	技術者倫理入門	1	1					
	情報基礎	1	1					
	基礎電気Ⅰ	1		1				
	基礎電気Ⅱ	1		1				
	計算機システム	1		1				
	論理回路	1		1				
	プログラミングⅠ	1		1				
	プログラミングⅡ	1		1				
	工学演習Ⅰ	1		1				
	電子情報工学実験Ⅰ	2		2				
	電子情報工学実験Ⅱ	3			3			
	電子情報工学実験Ⅲ	3				3		
卒業研究	12					12		
計	32	5	9	3	3	12		
選択科目	応用物理解Ⅰ	1			1			
	応用物理解Ⅱ	1			1			
	電気回路Ⅰ	1			1			
	電気回路Ⅱ	1			1			
	電子回路Ⅰ	1			1			
	電子回路Ⅱ	1			1			
	プログラミングⅢ	1			1			
	計算機構成論Ⅰ	1			1			
	計算機構成論Ⅱ	1			1			
	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	1			1			
	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	1			1			
	情報数学Ⅰ	1			1			
	工学演習Ⅱ	1			1			
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	応用物理解Ⅲ	1				1		
	応用物理解Ⅳ	1				1		
	電気磁気学Ⅰ	1				1		
	電気磁気学Ⅱ	1				1		
	電気回路Ⅲ	1				1		
	電子デバイス	1				1		
	電子システムⅠ	1				1		
	電子システムⅡ	1				1		
	電子通信工学Ⅰ	1				1		
	電子通信工学Ⅱ	1				1		
	通信システムⅠ	1				1		
	通信システムⅡ	1				1		
	オペレーティングシステムⅠ	1				1		
	オペレーティングシステムⅡ	1				1		
	制御工学Ⅰ	1				1		
	制御工学Ⅱ	1				1		
	数値計算	1				1		
	情報数学Ⅱ	1				1		
	創造工学設計Ⅰ	2				2		
	創造工学設計Ⅱ	2				2		
	インターシップ	2				2		
応用数学Ⅲ	2					2		
応用数学Ⅳ	2					2		
技術英語	1					1		
センサ工学	1					1		
ディジタル信号処理Ⅰ	1					1		
ディジタル信号処理Ⅱ	1					1		
電子回路Ⅲ	1					1		
電子回路Ⅳ	1					1		
コンピュータ計測Ⅰ	1					1		
コンピュータ計測Ⅱ	1					1		
電波工学	1					1		
応用電磁システム	1					1		
情報ネットワークⅠ	1					1		
情報ネットワークⅡ	1					1		
ソフトウェア工学Ⅰ	1					1		
ソフトウェア工学Ⅱ	1					1		
メディア工学Ⅰ	1					1		
メディア工学Ⅱ	1					1		
計算工学Ⅰ	1					1		
計算工学Ⅱ	1					1		
情報理論	1					1		
英語フレゼン	2					2		
修得すべき単位数	82単位以上							

## ■国際ビジネス学科

# 富山から環日本海へ、そして世界へ 外国語とビジネスの知識を駆使するグローバルな 人間を育てる

国際的なコミュニケーションの基礎となる英語と環日本海諸国語の2つの“使える外国語能力”、及び、異文化理解力を身につけ、ビジネスに関する専門的な知識を学びます。

さまざまな情報を統合して活用する手法やプレゼンテーション技術などを養い、環日本海交流の拠点をめざす富山県を中心として、国際的に活躍し、地域社会や地域産業にも貢献できるビジネスパーソンを育成します。



### 国際ビジネス学科 教育目標

ビジネスに関する専門的な知識を身につけ、活用できる人材を育成します。

英語と、もう一つの外国語（中国語・韓国語・ロシア語）が使える語学力を身につけたビジネスパーソンを育成します。

# Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	商学概論 I	1	1					
	商学概論 II	1	1					
	情報基礎 I	1	1					
	情報基礎 II	1	1					
	情報演習 I	1	1					
	物流概論 I	1		1				
	物流概論 II	1		1				
	会計概論 I	1		1				
	会計概論 II	1		1				
	経済概論 I	1		1				
	経済概論 II	1		1				
	英語演習 I	1			1			
	英語演習 II	1			1			
	法學概論 I	1			1			
	法學概論 II	1			1			
	経営概論 I	1			1			
	経営概論 II	1			1			
	環境社会経済史 I	1			1			
	環境社会経済史 II	1			1			
	卒研	12						
	33	5	4	10	2	12	12	
選択科目	情報基礎 III	1		1				
	情報基礎 IV	1		1				
	情報演習 II	1		1				
	物流管理論 I	1			1			
	物流管理論 II	1			1			
	財務会計論 I	1			1			
	財務会計論 II	1			1			
	工業会計論 I	1			1			
	工業会計論 II	1			1			
	環日本海諸国語演習 I (中国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 I (韓国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 I (ロシア語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 II (中国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 II (韓国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 II (ロシア語)	1			1			
	マーケティング論 I	1				1		
	マーケティング論 II	1				1		
	国際物流論 I	1				1		
	国際物流論 II	1				1		
	国際管理論 I	1				1		
	国際管理論 II	1				1		
	経営戦略論 I	1				1		
	経営戦略論 II	1				1		
	経営情報論 I	1				1		
	経営情報論 II	1				1		
	環境社会経済史 III	1				1		
	環境社会経済史 IV	1				1		
	時事英語講読 I	2				2		
	時事英語講読 II	2				2		
	環日本海諸国語演習 III (中国語)	2				2		
	環日本海諸国語演習 III (韓国語)	2				2		
	環日本海諸国語演習 III (ロシア語)	2				2		
	環日本海諸国語表現 I (中国語)	1				1		
	環日本海諸国語表現 I (韓国語)	1				1		
	環日本海諸国語表現 I (ロシア語)	1				1		
	環日本海諸国語表現 II (中国語)	1				1		
	環日本海諸国語表現 II (韓国語)	1				1		
	環日本海諸国語表現 II (ロシア語)	1				1		
	環日本海諸国語表現 III (中国語)	2				2		
	環日本海諸国語表現 III (韓国語)	2				2		
環日本海諸国語表現 III (ロシア語)	2				2			
金融論	2				2			
インターンシップ	2				2			
国際ビジネス論	2					2		
マーケティング戦略論	2					2		
原価企画論 I	1					1		
原価企画論 II	1					1		
ビジネス英語演習 I	1					1		
ビジネス英語演習 II	1					1		
異文化コミュニケーション論	2					2		
ビジネス環日本海諸国語 (中国語)	2					2		
ビジネス環日本海諸国語 (韓国語)	2					2		
ビジネス環日本海諸国語 (ロシア語)	2					2		
時事環日本海諸国語 (中国語)	2					2		
時事環日本海諸国語 (韓国語)	2					2		
時事環日本海諸国語 (ロシア語)	2					2		
雇用関係法 I	1					1		
雇用関係法 II	1					1		
経営管理論 I	1					1		
経営管理論 II	1					1		
国際関係概論 I	1					1		
国際関係概論 II	1					1		
英語圏異文化実習	3				3			
環境日本海諸国異文化実習	3				3			
英語修得すべき単位数	2					2		
	82単位以上							

# サービスエリアは地球 世界の海で活躍するグローバルスペシャリスト

「航海コース」と「機関コース」との2つからなる複合学科です。

2年生から選択したコースに分かれます。

海と船で使われる様々なテクノロジーを学び、

世界中で活躍するナビゲータやエンジニアをめざします。

最新のシミュレータやハイテク練習船で実習しながら、実物を使って理論と技術を学び、

即戦力を身につけます。

大きな船で航海に出る延べ1年間の乗船実習があるので、修業年限は5年6ヶ月となり、

卒業は6年生の9月になります。



## 商船学科 ■ 教育目標

船舶の運航や船用プラント運用に必要なシーマンシップを身につけたグローバルな海技士を育成します。

海洋をフィールドとしてシステムの開発・構築・管理ができる技術者を育成します。

海洋環境を地球規模の視点で考えられるスペシャリストを育成します。





# 一般教養科

一般教養科には、各分野の一般科目を担当する専任教員を配置し、社会人として必要な教養と専門分野の知識・技術を修得するために必要な基礎学力を育成します。

## Curriculum

機械システム工学科・電気制御システム工学科・物質化学工学科

## Curriculum

電子情報工学科

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	基礎数学 A I	2	2					
	基礎数学 A II	2	2					
	基礎数学 B I	1	1					
	基礎数学 B II	1	1					
	物理学 I A (*)	[1]	[1]					
	物理学 I B (*)	[1]	[1]					
	化学 I A (*)	(2)	(2)					
	化学 I B (*)	(1)	(1)					
	基礎科学実験 (**)	[1]		[1]				
	計	9	[8][9]	[1]				
人文・社会	総合国語 I A	2	2					
	総合国語 I B	2	2					
	総合国語 II A	1		1				
	総合国語 II B	1		1				
	総合国語 III A	1			1			
	総合国語 III B	1			1			
	国語表現 I	1				1		
	日本語と文化 I	1					1	
	歴史 I	2	2					
	歴史 II	2	2					
自然	歴史学 I	1				1		
	歴史学 II	1				1		
	倫理学 I	2		2				
	哲学 I	1				1		
	哲学 II	1				1		
	政治・経済 I	2			2			
	経済学 I	1				1		
	経済学 II	1				1		
	法	1					1	
	基礎数学 C	1	1					
選択	微分積分学 I	2		2				
	微分積分学 II	2		2				
	線形代数 I	1		1				
	線形代数 II	1		1				
	解析学 I	2			2			
	解析学 II	2			2			
	総合数学 I	1			1			
	確率と統計 I	1			1			
	数学特講 I	1				1		
	数学特講 II	1				1		
科目	物理学 I A (*)	(1)	(1)					
	物理学 I B (*)	(1)	(1)					
	物理学 II A	1		1				
	物理学 II B	1		1				
	物理学 III	1			1			
	化学 I A (*)	[1]	[1]					
	化学 I B (*)	[1]	[1]					
	化学 II A	1		1				
	化学 II B	1		1				
	保健 I	1	1					
科目	体育 I	2	2					
	体育 II	2	2					
	体育 III	2		2				
	体育 IV	1			1			
	体育 V	1				1		
	音楽	1	1					
	美術	1	1					
	書道	1	1					
	総合英語 I	3	3					
	総合英語 II	3		3				
科目	総合英語 III	3			3			
	総合英語 IV	1				1		
	総合英語 V	1				1		
	英語表現 I	2	2					
	英語表現 II	2		2				
	英語表現 III	2			2			
	英会話 I	1	1					
	英会話 II	1		1				
	英会話演習 I	1			1			
	英会話演習 II	1			1			
科目	英語演習 I	1				1		
	英語演習 II	1				1		
	英語演習 III	1				1		
	環日本海諸国語 I (中国語)	1			1			
	環日本海諸国語 I (韓国語)	1			1			
	環日本海諸国語 I (ロシア語)	1			1			
	環日本海諸国語 II (中国語)	1			1			
	環日本海諸国語 II (韓国語)	1			1			
	環日本海諸国語 II (ロシア語)	1			1			
	環日本海諸国語 III (中国語)	1				1		
科目	環日本海諸国語 III (韓国語)	1				1		
	環日本海諸国語 III (ロシア語)	1				1		
	英語圏異文化実習	3					3	
	環日本海諸国異文化実習	3					3	
	修得すべき単位数	75単位以上						

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	基礎数学 A I	2	2						
	基礎数学 A II	2	2						
	基礎数学 B I	1	1						
	基礎数学 B II	1	1						
	物理学 I A	1	1						
	物理学 I B	1	1						
	基礎科学実験	1		1					
	計	9	8	1					
	人文・社会	総合国語 I A	1	1					
		総合国語 I B	1	1					
総合国語 I C		1	1						
総合国語 I D		1	1						
総合国語 II A		1		1					
総合国語 II B		1		1					
総合国語 III A		1			1				
総合国語 III B		1			1				
国語表現 I		1				1			
日本語と文化 I		1					1		
自然	歴史 I	2	2						
	歴史 II	2	2						
	歴史学 I	1				1			
	歴史学 II	1				1			
	倫理学	2		2					
	哲学 I	1				1			
	哲学 II	1				1			
	政治・経済	2			2				
	経済学 I	1				1			
	経済学 II	1				1			
科目	法	1					1		
	基礎数学 C	1	1						
	微分積分学 I	2		2					
	微分積分学 II	2		2					
	線形代数 I	1		1					
	線形代数 II	1		1					
	解析学 I	2			2				
	解析学 II	2			2				
	総合数学	1			1				
	確率と統計	1			1				
科目	数学特講 I	1				1			
	数学特講 II	1				1			
	物理学 II A	1		1					
	物理学 II B	1		1					
	物理学 III	1			1				
	化学 I A	1	1						
	化学 I B	1	1						
	化学 II A	1		1					
	化学 II B	1		1					
	保健	1	1						
科目	体育 I	2	2						
	体育 II	2	2						
	体育 III	2		2					
	体育 IV	1			1				
	体育 V	1				1			
	音楽	1	1						
	美術	1	1						
	書道	1	1						
	総合英語 I	3	3						
	総合英語 II	3		3					
科目	総合英語 III	3			3				
	総合英語 IV	1				1			
	総合英語 V	1				1			
	英語表現 I	2	2						
	英語表現 II	2		2					
	英語表現 III	2			2				
	英会話 I	1	1						
	英会話 II	1		1					
	英会話演習 I	1			1				
	英会話演習 II	1			1				
科目	英語演習 I	1				1			
	英語演習 II	1				1			
	英語演習 III	1				1			
	環日本海諸国語 I (中国語)	1			1				
	環日本海諸国語 I (韓国語)	1			1				
	環日本海諸国語 I (ロシア語)	1			1				
	環日本海諸国語 II (中国語)	1			1				
	環日本海諸国語 II (韓国語)	1			1				
	環日本海諸国語 II (ロシア語)	1			1				
	環日本海諸国語 III (中国語)	1				1			
科目	環日本海諸国語 III (韓国語)	1				1			
	環日本海諸国語 III (ロシア語)	1				1			
	英語圏異文化実習	3					3		
	環日本海諸国異文化実習	3					3		
	修得すべき単位数	75単位以上							

(※) 機械システム工学科、電気制御システム工学科は、「物理学 I A」及び「物理学 I B」が1単位必修、「化学 I A」及び「化学 I B」が1単位選択。  
物質化学工学科は、「化学 I A」が2単位必修、「化学 I B」が1単位必修、「物理学 I A」及び「物理学 I B」が1単位選択。  
(※※) 機械システム工学科、電気制御システム工学科は「基礎科学実験」が1単位必修。  
物質化学工学科は「基礎科学実験」が開講されない。



Curriculum 商船学科

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	自然	基礎基礎	2	2				
		基礎基礎	2	2				
		基礎基礎	1	1				
		基礎基礎	1	1				
		基礎基礎	1	1				
		基礎基礎	1	1				
外国語	総合	1		1			1	
	計	10	8	1			1	
選択科目	人文・社会	総合	1	1				
		総合	1	1				
		総合	1	1				
		総合	1		1			
		総合	1		1			
		総合	1		1			
		総合	1		1			
		総合	1		1			
		総合	1		1			
		総合	1		1			
		総合	1		1			
		総合	1		1			
	自然	微分	2		2			
		微分	2		2			
		微分	1		1			
		微分	1		1			
		微分	2		2			
		微分	2		2			
		微分	1		1			
		微分	1		1			
		微分	1		1			
		微分	1		1			
		微分	1		1			
		微分	1		1			
	保・体	体育	1					1
		体育	2	1				
		体育	2	2				
		体育	2		2			
		体育	1			1		
		体育	1				1	
	芸術	音楽	1	1				
		音楽	1	1				
		音楽	1	1				
		音楽	1	1				
		音楽	1	1				
		音楽	1	1				
	外国語	総合	3	3				
		総合	3		3			
		総合	2			2		
		総合	1				1	
		総合	1	2				1
		総合	2	2				
総合		2		2				
総合		2		2				
総合		1	1					
総合		1		1				
総合		1					1	
総合		1					1	
総合		1					1	
総合		1					1	
総合		1					1	
総合		1					1	
総合		1					1	
総合		1					1	
総合		1					1	
総合		1					1	
その他		英語	3				3	
その他		英語	3				3	
修得すべき単位数		75単位以上						

## 4 専攻科紹介

専攻科は、工学系のエコデザイン工学専攻及び制御情報システム工学専攻、人文社会系の国際ビジネス学専攻、商船系の海事システム工学専攻から成り、幅広い豊かな教養と高度な専門的知識を有する人材を育成します。

### ■エコデザイン工学専攻

全ての技術は環境との共存に配慮しなければならないとの理念のもと、本専攻では、エンジニアに必要な工学全般の技術とともに、環境に配慮した技術、すなわちエコテクノロジーについて教育を行います。また、人・地球との共生の精神を理解し、グローバルエンジニアとしての素養を有する人材を育成します。本科教育で修得した基礎学力の上に高度化・複合化した教育を行うとともに、環境関連科目や工業倫理に関する共通科目を編成します。また、PBL教育、インターンシップ、特別研究を通じ、開発能力を有した創造的技術者を育成します。

### Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
共通科目	計測・制御	2	2				
	プログラミング工学	2		2			
	生物工学	2				2	
	力学基礎	2		2			
	工学倫理	2	2				
	技術と環境	2			2		
	環境工学	2				2	
	工業数学	2	2				
	MOT入門	2		2			
	インターンシップA	2or3		2or3			
	インターンシップB	2or3		2or3			
エコデザイン工学特論	2				2		
特別演習	2	2					
地域産業学	2		2				
共通科目開設単位計		28~30	8	12~14	2	6	
専門科目	エコデザイン工学特別研究Ⅰ	9	2	2	5		
	エコデザイン工学特別研究Ⅱ	5				5	
	材料工学特論	2		2			
	振動工学特論	2	2				
	シミュレーション工学特論	2	2				
	流体工学特論	2	2				
	材料機能システム論	2		2			
	精密加工学	2		2			
	熱工学特論	2		2			
	応用システム特論	2		2			
	生産加工学	2			2		
	数値解析	2			2		
	電気回路特論	2	2				
	ロボット工学特論	2	2				
	知的信号処理特論	2	2				
	エネルギー論	2	2				
	電磁波工学	2		2			
	パワーエレクトロニクス特論	2		2			
	エコ電力システム工学特論	2		2			
	電子物性論	2			2		
	薄膜工学	2				2	
	物理化学特論	2	2				
	無機材料特論	2	2				
	複合材料工学	2	2				
	機能性高分子材料	2		2			
	材料機能特論	2		2			
	エコマテリアル特論	2		2			
	精密有機合成化学	2			2		
	生体物質機能概論	2			2		
	食品化学工学	2				2	
	機器分析論	2				2	
専攻科目開設単位計		72	22	24	15	11	
専門科目開設科目単位計		100~102	30	36~38	17	17	
修得単位			専門科目として54単位以上修得				
計合計単設開目科門専・般一		116~118	34	40~42	21	21	
一般・専門科目 修得単位 合計			62単位以上修得				

## ■ 制御情報システム工学専攻

ソフトウェア、電気電子、ネットワークの技術を身に付け、これらを有機的に結びつけたシステムを設計できるプロフェッショナルエンジニアを育成します。

### Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考	
			1年		2年			
			前期	後期	前期	後期		
専 門 共 通 科 目	技術者倫理・企業倫理	2				2		
	技術英語	2		2				
	応用数学特論	2	2					
	応用物理学特論	2	2					
	数学・物理学演習	2		2				
	国際関係論	2				2		
	経営戦略特論	2		2				
	情報処理学	2	2					
	生産開発システム	2				2		
	インターンシップA(国内)	2	2					
	インターンシップB(国外)	3	3					
	技術経営(MOT)論	2	2					
	港湾実務	2			2			
	港湾物流	2		2				
	地球科学概論	2				2		
	衝撃工学	2	2					
	地域産業学	2		2				
	専門共通科目開設単位数	35	15	8	4	8		
	専 門 専 攻 科 目	制御情報システム工学特別研究Ⅰ	9	2	2	5		
		制御情報システム工学特別研究Ⅱ	5				5	
制御情報システム工学実験		4	2	2				
制御情報システム工学演習		4	2	2				
オブジェクト指向プログラミング		2		2				
計測制御システム工学		2		2				
量子エレクトロニクス		2	2					
通信工学特論		2	2					
電磁波工学特論		2			2			
生体情報工学		2			2			
計算工学特論		2		2				
ネットワークシステム工学		2			2			
知能情報処理工学		2		2				
専門専攻科目開設単位数		40	10	14	11	5		
専門科目開設単位数計	75	25	22	15	13			
一般・専門科目単位数計	91	29	24	19	19			
修得単位数合計		62単位以上						

## ■ 国際ビジネス学専攻

経営学に関する高度な専門的知識とビジネスに関する実践的な能力を併せ持ち、環日本海地域ビジネスに関わるコーディネーター、プロジェクトマネージャーを育成します。

### Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考	
			1年		2年			
			前期	後期	前期	後期		
専 門 共 通 科 目	技術者倫理・企業倫理	2				2		
	技術英語	2		2				
	応用数学特論	2	2					
	応用物理学特論	2	2					
	数学・物理学演習	2		2				
	国際関係論	2				2		
	経営戦略特論	2		2				
	情報処理学	2	2					
	技術経営(MOT)論	2	2					
	インターンシップA(国内)	2	2					
	インターンシップB(国外)	3	3					
	生産開発システム	2				2		
	港湾実務	2			2			
	港湾物流	2		2				
	地球科学概論	2				2		
	衝撃工学	2	2					
	地域産業学	2		2				
	専門共通科目開設単位数	35	15	8	4	8		
	専 門 専 攻 科 目	国際ビジネス学特別研究Ⅰ	12	4	4	4		
		国際ビジネス学特別研究Ⅱ	4				4	
経営管理特論		2	2					
環日本海ビジネス事情		2	2					
環日本海ビジネス演習		2		2				
数理意思決定論		2			2			
製品開発論		2		2				
ビジネス会計論		2			2			
応用情報処理論		2			2			
商業英語		2		2				
経営システム分析論		2		2				
経営システム科学論		2				2		
地域経営特論		2	2					
ビジネス創造論		2	2					
企業論特論		2		2				
国際ビジネス外書講読		2		2				
企業と雇用		2		2				
地域イノベーション論	2				2			
専門専攻科目開設単位数	48	12	18	10	8			
専門科目開設単位数計	83	27	26	14	16			
一般・専門科目単位数計	99	31	28	18	22			
修得単位数合計		62単位以上						

## ■ 海事システム工学専攻

陸上と船舶を繋ぐ視点及び陸上の視点から、深く体系的に学び、新たな物流・輸送システム、新たなプラント等の設計、開発などのシステム創生を担える人材を育成します。

### Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			学期D	学期A	学期B	学期C	
専門共通科目	技術者倫理・企業倫理	2	2				
	技術英語	2		2			
	応用数学特論	2		2			
	応用物理学特論	2		2			
	数学・物理学演習	2			2		
	国際関係論	2			2		
	経営戦略特論	2			2		
	情報処理学	2		2			
	生産開発システム	2	2				
	インターンシップA(国内)	2			2		
	インターンシップB(国外)	3			3		
	港湾実務	2				2	
	港湾物流	2				2	
	地球科学概論	2	2				
	技術経営(MOT)論	2		2			
衝撃工学	2		2				
地域産業学	2	2					
専門共通科目開設単位数	35	8	15	8	4		
専門科目	海事システム工学特別研究Ⅰ	9	2	2	5		
	海事システム工学特別研究Ⅱ	5				5	
	海事システム工学実験	4	2	2			
	海事システム工学演習	4	2	2			
	船用制御システム	2		2			
	ナビゲーション・システム	2			2		
	輸送機器デザイン	2			2		
	海洋施設環境・情報工学	2			2		
	熱機関工学特論	2	2				
	タービン特論	2		2			
	海事安全学特論	2		2			
	流体工学特論	2		2			
	海上労働法	2			2		
	伝熱工学特論	2	2				
	専門専攻科目開設単位数	42	10	14	13	5	
専門科目開設単位数計	77	18	29	21	9		
一般・専門科目単位数計	93	24	33	23	13		
修得単位数合計		62単位以上					

## ■ 専攻別一般科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考	
			1年		2年			
			前期	後期	前期	後期		
エコデザイン工学専攻	一般科目	言語と文化	2				2	
		歴史と文化	2				2	
		思想と文化	2			2		
		環境社会学	2			2		
	外国語	英語Ⅰ	2	2				
		英語Ⅱ	2		2			
		英語コミュニケーションⅠ	2	2				
		英語コミュニケーションⅡ	2		2			
一般科目開設単位数 小計		16	4	4	4	4		
修得単位数 一般科目として8単位以上修得								

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考	
			1年		2年			
			前期	後期	前期	後期		
制御情報システム工学専攻	一般科目	英語特論Ⅰ	2	2				
		英語特論Ⅱ	2		2			
		応用英語	2	2				
		日本語・日本文化	2				2	
		地域社会研究	2			2		
		健康科学	2				2	
		産業特論	2			2		
		環日本海文化論	2				2	
一般科目開設単位数		16	4	2	4	6		

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考	
			1年		2年			
			前期	後期	前期	後期		
国際ビジネス専攻	一般科目	英語特論Ⅰ	2	2				
		英語特論Ⅱ	2		2			
		応用英語	2	2				
		日本語・日本文化	2				2	
		地域社会研究	2			2		
		健康科学	2				2	
		産業特論	2			2		
環日本海文化論	2				2			
一般科目開設単位数		16	4	2	4	6		

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考	
			1年		2年			
			学期D	学期A	学期B	学期C		
海事システム工学専攻	一般科目	英語特論Ⅰ	2		2			
		英語特論Ⅱ	2			2		
		応用英語	2		2			
		日本語・日本文化	2	2				
		地域社会研究	2				2	
		健康科学	2	2				
		産業特論	2				2	
環日本海文化論	2	2						
一般科目開設単位数		16	6	4	2	4		

## 5 教員名簿

### ■機械システム工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(工学)	浅地 豊久 Asaji Toyohisa	機械力学 振動工学
教授 Professor	博士(工学)	井上 誠 Inoue Makoto	鉄鋼材料 環境強度 I
教授 Professor	博士(工学)	岡根 正樹 Okane Masaki	材料力学 I, II, III 強度設計
教授 Professor	博士(工学)	佐瀬 直樹 Sase Naoki	機構学 製造と加工 II
教授 Professor	博士(工学)	白川 英観 Shirakawa Hidemi	熱力学 I 流体工学 I
教授 Professor	博士(工学)	高橋 勝彦 Takahashi Katsuhiko	製造と加工 I 材料プロセス
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	池田 英俊 Ikeda Hidetoshi	電気・電子回路 実用技術英語 I
准教授 Associate Professor	博士(工学)	喜多 正雄 Kita Masao	基礎材料工学 I, II 材料物性 I
准教授 Associate Professor	修士(工学)	増山 圭一 Masuyama Keichi	ものづくり基礎工学実験 機械製図
准教授 Associate Professor	博士(工学)	吉川 文恵 Yoshikawa Fumie	エネルギー機械 流体機械
講師 Lecturer	博士(工学)	田尻 智紀 Tajiri Tomoki	制御工学 I, II 応用数学 I

### ■電気制御システム工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	学士(工学)	浦風 和裕 Urakaze Kazuhiro	設計製図 II メカトロ創造設計 B I, B II
教授 Professor	博士(工学)	櫻井 豊 Sakurai Yutaka	電気材料 制御工学 I
教授 Professor	博士(工学)	佐藤 圭祐 Sato Keisuke	メカトロ創造設計 A I, A II 電気機械 I, II
教授 Professor	博士(工学)	柴田 博司 Shibata Hiroshi	シミュレーション工学 材料力学 I, II
教授 Professor	博士(工学)	高田 英治 Takada Eiji	計測工学 I, II システム工学
教授 Professor	博士(工学)	西 敏行 Nishi Toshiyuki	電気磁気学 I, II, III システム工学実験 II
教授 Professor	博士(工学)	百生 登 Momose Noboru	ものづくり工学 メカトロ基礎工学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	井澤 正樹 Izawa Masaki	機械工作法 工業力学
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	石田 文彦 Ishida Fumihiko	情報処理 計算機システム I



准教授 Associate Professor	博士(工学)	金子 慎一郎 Kaneko Shin-ichiro	ロボット工学Ⅰ 設計製図Ⅰ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	多田 和広 Tada Kazuhiro	電子回路Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ 電子物性論, 電子工学Ⅰ
准教授 Associate Professor	博士(理学)	藤崎 明広 Fujisaki Akihiro	応用数学Ⅰ, Ⅱ 応用物理Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ
准教授 Associate Professor	修士(工学)	古川 裕人 Furukawa Hiroto	電気回路Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ 通信工学
講師 Lecturer	博士(工学)	北村 拓也 Kitamura Takuya	応用数学Ⅲ 制御工学Ⅱ
講師 Lecturer	博士(工学)	西島 健一 Nishijima Ken-ichi	パワーエレクトロニクス 技術者倫理入門

## ■物質化学工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(工学)	河合 孝恵 Kawai Takae	物理化学Ⅰ, Ⅲ 情報処理Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	川淵 浩之 Kawafuchi Hiroyuki	有機化学Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ 有機化学実験
教授 Professor	博士(薬学)	後藤 道理 Goto Michimasa	生物化学Ⅰ, Ⅱ 薬理学
教授 Professor	工学博士	高廣 政彦 Takahiro Masahiko	応用物理Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ 複合材料工学, 先端化学Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	袋布 昌幹 Tafu Masamoto	材料工学Ⅰ エコマテリアル
教授 Professor	博士(理学)	津森 展子 Tsumori Nobuko	化学ⅠA, ⅠB, Ⅱ 無機化学Ⅱ, Ⅲ
准教授 Associate Professor	博士(農学)	篠崎 由紀子 Shinozaki Yukiko	分子生物学 生物工学, 安全工学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	高松 さおり Takamatsu Saori	分析化学実験 環境工学, 技術者倫理入門
准教授 Associate Professor	博士(工学)	中島 栄次 Nakajima Eiji	基礎化学工学 化学工学Ⅰ
准教授 Associate Professor	博士(マテリアルサイエンス)	福田 知博 Fukuda Tomohiro	有機化学Ⅰ 情報処理Ⅰ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	間中 淳 Manaka Atsushi	分析化学実験 無機化学Ⅳ
准教授 Associate Professor	博士(農学)	峰本 康正 Minemoto Yasumasa	化学工学Ⅱ, Ⅲ 応用数学Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	森 康貴 Mori Yasutaka	高分子化学Ⅰ, Ⅱ 材料工学Ⅱ
講師 Lecturer	博士(工学)	迫野 奈緒美 Sakono Naomi	無機材料特論, 品質管理 物理化学Ⅱ
講師 Lecturer	博士(理学)	山岸 正和 Yamagishi Masakazu	機器分析Ⅰ, Ⅱ 有機化学実験

## 電子情報工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(理学)	阿蘇 司 Aso Tsukasa	情報ネットワークⅠ,Ⅱ ネットワークシステム工学
教授 Professor	博士(工学)	小熊 博 Oguma Hiroshi	制御工学Ⅰ,Ⅱ 通信工学特論
教授 Professor	博士(工学)	椎名 徹 Shiina Toru	メディア工学Ⅰ,Ⅱ 電気磁気学Ⅰ,Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	篠川 敏行 Shinokawa Toshiyuki	計算機構成論Ⅰ,Ⅱ 論理回路
教授 Professor	博士(工学)	塚田 章 Tsukada Akira	電気回路Ⅰ,Ⅱ 生体情報工学
教授 Professor	博士(情報科学)	古山 彰一 Furuyama Shoichi	創造工学設計Ⅰ 数値計算
教授 Professor	博士(工学)	水本 巖 Mizumoto Iwao	電子通信工学Ⅰ,Ⅱ 応用電磁システム
准教授 Associate Professor	博士(工学)	秋口 俊輔 Akiguchi Syunsuke	オペレーティングシステムⅠ,Ⅱ 知能情報処理工学
准教授 Associate Professor	修士(工学)	早勢 欣和 Hayase Yoshikazu	情報数学Ⅱ ソフトウェア工学Ⅰ,Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	的場 隆一 Matoba Ryuichi	応用数学Ⅰ,Ⅱ 技術英語
准教授 Associate Professor	修士(工学)	山口 晃史 Yamaguchi Akifumi	基礎電気Ⅰ,Ⅱ 電子システムⅠ,Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	由井 四海 Yoshii Yotsumi	量子エレクトロニクス コンピュータ計測Ⅰ,Ⅱ
助手 Research Associate	修士(工学)	門村 英城 Kadomura Hideki	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ,Ⅱ 電子情報工学実験Ⅰ

## 国際ビジネス学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(Ph.D.)	西原 雅博 Nishihara Masahiro	時事英語講読 ビジネス英語演習Ⅰ,Ⅱ
教授 Professor	修士(経営情報学)	長谷川 博 Hasegawa Hiroshi	会計学概論Ⅰ,Ⅱ 財務会計論Ⅰ,Ⅱ
教授 Professor	修士(経済学)	松原 義弘 Matsubara Yoshihiro	民法Ⅰ,Ⅱ 雇用関係法Ⅰ,Ⅱ
教授 Professor	博士(学術)	宮重 徹也 Miyashige Tetsuya	経営戦略論Ⅰ,Ⅱ 経営管理論Ⅰ,Ⅱ
准教授 Associate Professor	修士(学術)	海老原 毅 Ebihara Tsuyoshi	環日本海諸国語表現Ⅰ,Ⅱ(中国語) ビジネス環日本海諸国語(中国語)
准教授 Associate Professor	修士(文学)	岡本 勝規 Okamoto Katsunori	環日本海社会経済史Ⅲ,Ⅳ 国際関係概論Ⅰ,Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(学術)	清 剛治 Kiyoshi Takeharu	経済学概論Ⅰ,Ⅱ 国際ビジネス論Ⅰ,Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(マネジメント)	塩見 浩介 Shiomi Kosuke	管理会計論Ⅰ,Ⅱ 原価企画論Ⅰ,Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	萩原 信吾 Hagiwara Shingo	経営情報Ⅰ,Ⅱ 情報基礎Ⅲ,Ⅳ
准教授 Associate Professor	博士(言語文化学)	宮崎 衣澄 Miyazaki Izumi	環日本海諸国語表現Ⅰ(ロシア語) ビジネス環日本海諸国語(ロシア語)
准教授 Associate Professor	博士(工学)	村山 雅子 Murayama Masako	物流管理論Ⅰ,Ⅱ 国際物流論Ⅰ,Ⅱ

## 商船学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(工学)	河合 雅司 Kawai Masashi	航海測位論Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ 航海科学
教授 Professor	修士(経済学) 一級海技士(航海)	笹谷 敬二 Sasaya Keiji	船舶安全学Ⅰ,Ⅱ 運用概論Ⅰ,Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	柁 伸司 Toga Shinji	計測・自動制御工学Ⅰ,Ⅱ 航海力学Ⅰ,Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	中谷 俊彦 Nakatani Toshihiko	航海概論Ⅰ,Ⅱ 航海計測論Ⅰ,Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	保前 友高 Homae Tomotaka	力学Ⅰ,Ⅱ 材料力学Ⅰ,Ⅱ
教授 Professor	準学士 一級海技士(機関)	松村 茂実 Matsumura Shigemi	蒸気原動機工学Ⅱ,Ⅲ 商船実務
教授 Professor	博士(工学)	水谷 淳之介 Mizutani Junnosuke	設計製図Ⅰ,Ⅱ 工業材料学Ⅰ,Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	山本 桂一郎 Yamamoto Keiichiro	パワーエレクトロニクスⅠ,Ⅱ 生産開発システム
准教授 Associate Professor	博士(工学)	経田 僚昭 Kyoden Tomoaki	工業熱力学Ⅰ,Ⅱ 工作実習
准教授 Associate Professor	博士(理学)	福留 研一 Fukudome Ken-ichi	海洋気象論Ⅰ,Ⅱ 海洋科学概論
准教授 Associate Professor	博士(理学)	向瀬 紀一郎 Mukose Kiichiro	船舶工学Ⅰ,Ⅱ 応用数学Ⅰ,Ⅱ
講師 Lecturer	修士(海事科学)	西井 典子 Nishii Noriko	海上交通論Ⅰ,Ⅱ 航海英語Ⅰ,Ⅱ
講師 Lecturer	博士(工学)	山田 圭祐 Yamada Keisuke	船用機関概論Ⅰ,Ⅱ 内燃機関工学Ⅰ,Ⅱ
助教 Assistant Professor	修士(海事科学) 一級海技士(航海)	布目 明弘 Nunome Akihiro	航海測位論Ⅱ 航海英語Ⅱ
助教 Assistant Professor	準学士 三級海技士(機関)	檜谷 亮一 Hinotani Ryoichi	設計製図Ⅰ 工作実習
嘱託准教授 Associate Professor	準学士 一級海技士(航海)	中松 英也 Nakamatsu Hideya	船舶航海実務 実験実習Ⅰ,Ⅱ

### 練習船若潮丸

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
船長・准教授 Captain	準学士 二級海技士(航海)	金山 恵美 Kanayama Emi	校内練習船実習 実験実習Ⅰ,Ⅱ
機関長・准教授 Chief Engineer	博士(工学) 一級海技士(機関)	山谷 尚弘 Yamatani Naohiro	校内練習船実習 実験実習Ⅰ,Ⅱ
一等航海士・助教 Chief Officer	準学士 三級海技士(航海)	関口 直人 Sekiguchi Naoto	校内練習船実習 実験実習Ⅰ,Ⅱ
一等機関士・助教 First Engineer	準学士 三級海技士(機関)	池野 一成 Ikeno Kazunari	校内練習船実習 実験実習Ⅰ,Ⅱ

## ■一般教養科

[本郷キャンパス]

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	修士 (TESOL)	青山 晶子 Aoyama Akiko	英語表現Ⅱ, 総合英語Ⅳ, Ⅴ 英語コミュニケーションⅠ, Ⅱ
教授 Professor	博士 (学術)	足立 繭子 Adachi Mayuko	総合国語ⅠA, ⅠB 日本語と文化
教授 Professor	学 士	高熊 哲也 Takakuma Tetsuya	総合国語ⅠA, ⅠB, Ⅱ, Ⅲ 日本語と文化, 言語と文化
教授 Professor	修士 (文学)	富田 尚 Tomita Takashi	総合英語Ⅱ 英語演習Ⅰ, Ⅱ
教授 Professor	修士 (体育学)	日比 端洋 Hibi Naohiro	体育Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅴ
教授 Professor	文学 修士	宮崎 真矢 Miyazaki Shinya	倫理 哲学Ⅰ, Ⅱ
教授 Professor	博士 (理学)	山腰 等 Yamakoshi Hitoshi	物理学ⅠA, ⅠB, Ⅱ, Ⅲ 基礎科学実験
准教授 Associate Professor	修士 (学術)	紙谷 智 Kamiya Satoshi	英語表現Ⅰ 総合英語Ⅲ
准教授 Associate Professor	修士 (工学)	河原 治 Kawahara Osamu	微分積分学Ⅰ, Ⅱ 総合数学
准教授 Associate Professor	修士 (文学)	高越 義一 Takagoshi Yoshikazu	総合英語Ⅰ 英語表現Ⅲ
准教授 Associate Professor	博士 (工学)	豊嶋 剛司 Toshima Takeshi	応用物理Ⅰa, Ⅰb 応用数学Ⅳ
准教授 Associate Professor	修士 (農学)	森田 康文 Morita Yasufumi	化学ⅠA, ⅠB, Ⅱ 生物学
講師 Lecturer	博士 (理学)	笠谷 昌弘 Kasatani Masahiro	基礎数学AⅠ, AⅡ 総合数学
講師 Lecturer	博士 (史学)	横山 恭子 Yokoyama Kyoko	歴史Ⅰ, Ⅱ 歴史学Ⅰ, Ⅱ
助教 Assistant Professor	修士 (スポーツ科学)	中村 祐太郎 Nakamura Yutaro	体育Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ 保健

[射水キャンパス]

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	理学 修士	河合 均 Kawai Hitoshi	解析学Ⅰ, Ⅱ 基礎数学AⅠ, AⅡ
教授 Professor	博士 (理学)	寺崎 由紀子 Terasaki Yukiko	化学ⅠA, ⅠB 理科ⅠA, ⅠB
教授 Professor	博士 (工学)	星野 朱美 Hoshino Akemi	環日本海諸国語ⅠA, ⅡA (中国語) 環日本海諸国語ⅠB, ⅡB (中国語)
教授 Professor	修士 (教育学)	モアナヌ チャールトン ビル Moananu Charlton Bill	英会話ⅠA, ⅠB 英会話ⅡA, ⅡB
教授 Professor	修士 (経済学) 修士 (教育学)	横田 数弘 Yokota Kazuhiro	政治, 経済 地域社会研究
教授 Professor	修士 (教育学)	楽山 進 Rakuyama Susumu	英語表現Ⅰ 総合英語Ⅱ

准教授 Associate Professor	博士(理学)	大竹由記子 Ohtake Yukiko	物理学ⅠA, ⅠB 物理学Ⅱ
准教授 Associate Professor	修士(体育学)	大橋千里 Ohashi Chisato	体育Ⅰ 健康科学
准教授 Associate Professor	修士(文学)	近藤周吾 Kondo Shugo	総合国語ⅠB 日本語・日本文学
准教授 Associate Professor	博士(理学)	櫻井秀人 Sakurai Hideto	基礎数学BⅠ, BⅡ 微分積分学Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	修士(英語教育) MA(ELT)	山村啓人 Yamamura Hiroto	総合英語Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ 英語演習Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	修士(学術)	山本有希 Yamamoto Yuki	環日本海諸国語ⅠA, ⅡA(ロシア語) 環日本海諸国語ⅠB, ⅡB(ロシア語)
講師 Lecturer	博士(人文科学)	久保陽子 Kubo Yoko	総合国語ⅠA 国語表現
助教 Assistant Professor	修士(教育学)	林直人 Hayashi Naoto	体育Ⅰ 保健
嘱託教授 Professor	文学修士	岡部寛子 Okabe Hiroko	総合国語Ⅲ 国語表現

## センター

### ソリューションセンター

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
准教授 Associate Professor	博士(工学)	石黒 農 Ishiguro Minoru	実用技術英語Ⅱ, 情報基礎 シミュレーション工学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	山本久嗣 Yamamoto Hisashi	流体工学Ⅱ ものづくり基礎工学実験

### 研究高度化推進センター

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
講師 Lecturer	博士(工学)	伊藤 尚 Ito Nao	応用物理Ⅲ, Ⅳ 電子回路Ⅲ, Ⅳ

## 6 ソリューションセンター

ソリューションセンターは、教職員の研究成果や実践的な技術開発力を活用して、企業や地方自治体と連携しながら、地域の産学連携を加速し、地域産業における技術的課題の解決を図ること、さらに地域の技術力の継承・発展、それを担う学生をはじめとする人材育成に貢献することをとおして、地域の活性化に貢献することを目的として設置されているセンターです。

本校が位置する富山県は、日本海側最大規模の工業立県であり、本センターではこの地域環境を最大限に活かした、産学・地域連携の強化を進めています。具体的には地域産業等からの技術相談の対応、共同・受託研究の受入支援、さらには企業・地域との共同教育事業の企画実施を進め、共同研究等で得られた知的財産の管理・活用まで、地域との連携をワンストップで対応できる取り組みを進めています。事業推進のためにコーディネーターを校内に配置し、地域産業のニーズの発掘と本校のシーズとのマッチングに対する細やかな対応を行っています。

また、技術振興会会員企業等と協力し、地域産業との連携強化につながる取り組みを進めています。

これらの取り組みをとおして、本校の教育・研究および地域産業がともに発展していくことを目指しています。



研究会における講演の様子



企業訪問による意見交換

## 7 研究高度化推進センター

研究高度化推進センターでは、教員の研究力を高め、それを教育に還元することにより、本校の研究・教育の高度化を実現することを目指しています。

科研費をはじめとした外部資金の増加を目的として、教員を対象とした講習会等を実施し、研究活動の支援を行っています。

他の研究機関や大学との連携を深め、最先端の研究開発を行うことにも取り組んでいます。長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、他高専との間で実施している機器共用ネットワークに参画し、それぞれの機関が保有する共通機器を相互に利用することで、本校の枠組みを超えた研究・教育を実施しています。

また、国内外の連携機関から講師を招聘する特別講義・セミナー（研究推進フォーラム）を開催し、教員と専攻科生等学生が研究発表を行うことをとおして、他の研究機関や大学等と本校との連携を深め、最先端の研究開発に取り組む雰囲気醸成しております。

研究と教育を両輪と捉え、双方を高度化するための活動を今後も進めてまいります。



研究推進フォーラムでの講演



機器共用ネットワークの利用

## 8 国際教育センター

グローバル化によって、これまでに築いてきた社会システムも変化を余儀なくされています。日本企業は、内需減少や国際情勢の変化に対応するため、グローバル化を推し進めています。経済発展著しい新興国との間でビジネスを展開すること、未開拓の海外市場を開拓することが当たり前となっています。海外での事業所や製造拠点を設置し、運営することが必須となっています。グローバルな観点で地域社会をリードする人材が求められています。

このような状況の変化を受けて、全国の高等専門学校では、従来から取り組んできた創造的な技術者・ビジネスパーソンの育成に加え、国際性を培う教育に傾注してまいりました。この取り組みは、海外の異なる文化を持つ人々を理解し、双方向にコミュニケーションできる人材、協調しつつ自己の主張を明確に行うことのできる人材、持続可能な社会の発展に寄与できるグローバル人材を高専で育てていこうという試みです。もちろん、本校でも、次代のリーダーに相応しい、喫緊の課題に真正面から向き合うことのできる技術者やビジネスパーソンを育成していこうと、さまざまな活動を実施しています。

本校の国際教育センターは、このような活動を支援する拠点組織として整備され、意欲的な取り組みを行っています。世界的視野と国際社会に通用する国際性やコミュニケーション能力を持った学生を育成すること、教職員の国際性向上を図ることを目的に、教育や研究における一層の国際化を推進しています。語学教育の充実や、海外からの短期留学生の受入、日本人学生の語学研修や海外インターンシップへの支援を積極的に行っています。さらに、国際学術交流協定を締結した海外の大学や地域企業などと連携して、国際シンポジウムの開催、国際共同研究の実施も推進しています。当センターでは、地域に根ざしつつ、国際的な視野を持った専門性の高い人材の輩出に貢献したいと願っています。



タイ・シンガポール短期留学生のウェルカムパーティー開催

## 9 入試広報センター

入試広報センターは本校の広報全般、とりわけ本校志願者向けの入試広報活動を主目的として設置されているセンターです。

現在少子化が社会問題化しており、中学卒業人口も年々減少しています。そのような中、中学生、保護者、中学校教諭および社会に本校を広く正しく知ってもらい、本校志願者数増加および本校のアドミッションポリシーに合致した入学生をより多く受け入れることを、本センターのミッションとしています。このようなミッションを達成すべく、中学生向け本校紹介パンフレットの作成、夏季・秋季オープンキャンパスの運営、各中学校で開催される高校説明会への参加、学習塾が主催する進学説明イベントへの参加などを行っています。また、本校学生および保護者向けの活動として、冊子(高専通信)の作成、本校ホームページの管理運営などを行っています。



中学生とその保護者を対象とした学校説明会の様子

# 10 図書館情報センター

## ■ 図書館

図書館は、本郷、射水の両キャンパスにあり、本校学生・教職員の学習・教育・研究を支援しています。

本郷図書館には理学・工学系分野を中心に図書約77,000冊と雑誌約850種を、射水図書館には商船系、電子情報系、国際ビジネス系分野を中心に図書約81,000冊と雑誌約970種を備えています。各分野の専門書だけでなく幅広い分野の読み物や英語多読本、就職・進学のための資格試験問題集、さらにDVD等の視聴覚資料も利用することができます。このほか、学術データベースや電子ジャーナルを学内のパソコン等で利用できるよう整備しています。

また、一般の方々への開放も行っております。

開館日程等

	本郷図書館	射水図書館
学業期間	月曜～金曜 8:30～21:00	月曜～金曜 8:30～19:00
	土曜 10:00～15:00 試験期間中 10:00～17:00	土曜 13:00～17:00
	休業期間	休業期間
休業期間	月曜～金曜 8:30～17:00 土曜 休館	月曜～金曜 8:30～17:00 土曜 休館

## ■ 情報センター

情報センターは、本郷、射水の両キャンパスに設置されており、情報処理教育の導入から高度な専門教育、教員・学生の研究及び教職員の職務遂行等の支援を行うとともに、ネットワーク環境や情報サービスの提供を行っています。

また、共同利用施設として両キャンパスに合わせて7つの演習室があり、300台を超えるPC端末、学内ネットワーク及び学外ネットワーク（SINET）の管理運営も行っています。

情報センターは放課後も開放されており、全学科、全学年の学生が、課題の提出や卒業研究等のためにインターネットや電子メール、アプリケーションソフトの利用が可能です。

### 本郷キャンパス



図書館閲覧室



第1演習室



図書館情報センター外観

### 射水キャンパス



図書館閲覧室



第1情報演習室



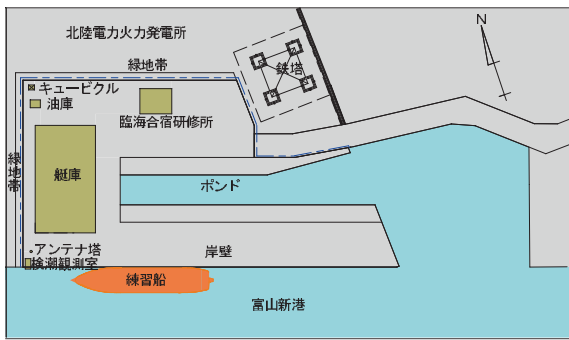
図書館情報センター外観



# 11 船舶運航センター

船舶運航センターは、本校の臨海実習場の運営及び練習船の運航を管理するとともに、学生実習教育及び研究等の支援を行うことを目的としています。

## 臨海実習場



臨海実習場配置図

所在地

〒933-0226 射水市堀江千石6番4

富山新港（伏木富山港新湊地区）東端の北側に位置しており、国道415号線の中野口交差点付近に進入口があります。

敷地面積は11,232平方メートルで、建物として艇庫、臨海合宿研修所、油庫、検潮観測室、設備としてアンテナ塔、天井クレーン、150メートルの専用岸壁（練習船若潮丸を係留）、ポンド、浮棧橋などを備えています。

教育・研究に利用するほか、全校のカッターレース大会や、ヨット部、漕艇部（カッター部）などの課外活動に活用されています。また、地元地域の青少年や市民に開放する公開講座、企業や研究機関などの研究調査にも利用されています。

### 艇庫内収容の舟艇

- ・実習艇ペガサス 1艇
- ・全閉囲型救命艇ジュピター 1艇
- ・救助艇ちどり 1艇
- ・実習艇いそなみ（エンジン付伝馬船） 1艇
- ・伝馬船 1艇
- ・カッター（端艇） 4艇
- ・ヨット 15艇

### ポンド内係留船舶

#### 実習船わかしお3号

主要寸法：全長7.90m 幅2.64m  
 総トン数：4.2トン  
 速力：23.0ノット  
 最大搭載人員：乗員2名、その他10名、計12名  
 竣工年月日：平成10年3月26日

## 練習船若潮丸



練習船「若潮丸」は大型船と同等の運航システムを装備しており、商船学科学生の船舶職員養成に必要な航海実習を行うだけでなく、海洋気象観測の調査研究や他機関との共同研究を行っています。また、公開講座やオープンキャンパスを開催し、地域の市民の方々や子供たちの航海体験を通して、海の魅力と船舶の安全についての理解を深める活動を行っています。

資格：近海区域 第4種船  
 主要寸法：全長53.59m 幅10.00m  
 総トン数：231トン  
 航海速力：12.50ノット  
 航続距離：2,700海里  
 主機関：中速ディーゼルエンジン  
           1,300ps×390rpm 1基  
           主機プロペラ 4翼可変ピッチ  
           パウスラスター 1台  
           スタンスラスター 1台  
 最大搭載人員：乗組員9名、教員3名、学生44名、計56名  
 竣工年月日：平成7年9月14日

# 12 学生生活

## 学校行事

- 4** ●入学式 ●クラブ紹介  
●新入生オリエンテーション

- 5** ●新入生合宿研修  
●北斗祭（射水隔年）

- 6** ●前期中間試験  
●北陸地区高専体育大会

- 7** ●カッターレース大会  
●前期末試験

- 8** ●夏季休業（～9月）  
●全国高専体育大会

- 9** ●県外工場見学（本郷）  
●商船学科卒業式  
●特別登校日（本郷）  
**10** ●県内工場見学・企業見学（射水）  
●ロボットコンテスト  
●合同球技大会

- 11** ●企業研究会  
●後期中間試験  
●志峰祭（本郷隔年）

- 12** ●冬季休業（～1月）

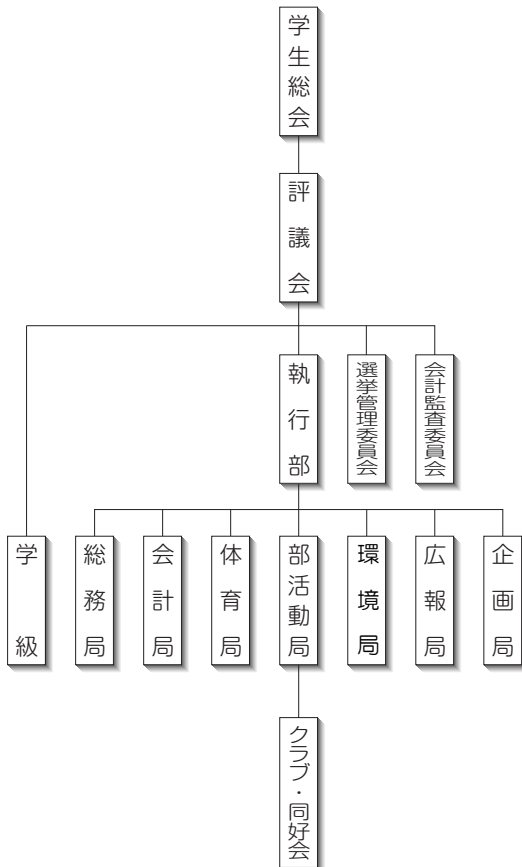
- 1** ●推薦入試

- 2** ●学力入試  
●学年末試験  
●卒業研究発表会

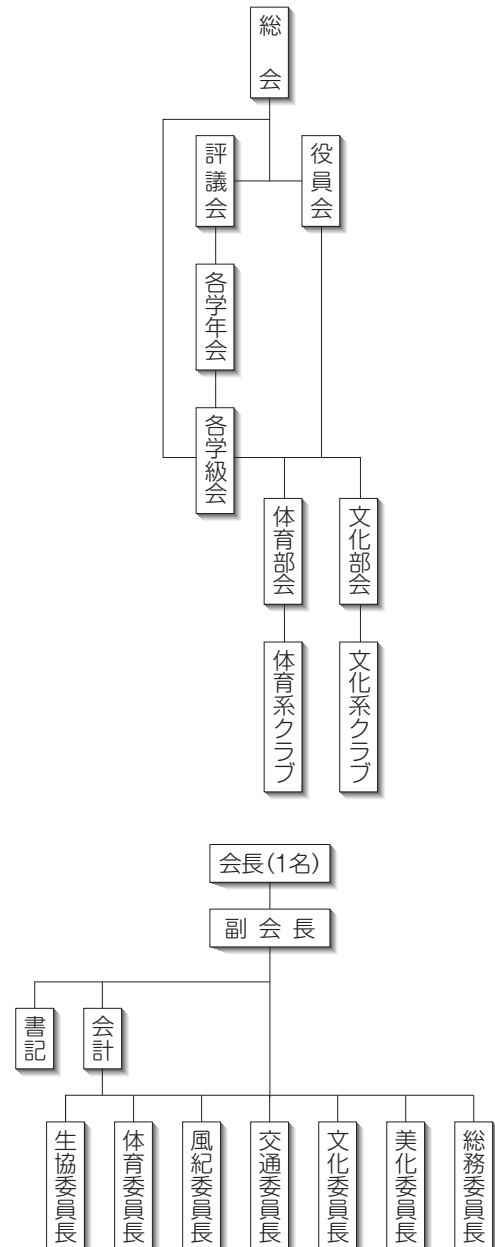
- 3** ●卒業式（商船学科を除く）

## 学生会組織図

### 本郷キャンパス



### 射水キャンパス



## ■ クラブ活動

### 本郷キャンパス

#### 体育系クラブ

陸上競技  
サッカー  
野球  
柔道  
弓道  
剣道  
男子バレーボール  
バスケットボール  
ラグビー・フットボール  
バドミントン  
テニス  
ハンドボール  
水泳  
卓球

#### 体育系同好会

女子バレーボール

#### 文化系クラブ

吹奏楽  
メカテック  
茶道  
ピアノ  
芸術  
軽音楽  
囲碁・将棋  
鉄道

#### 文化系同好会

知能プログラミング研究

### 射水キャンパス

#### 体育系クラブ

ヨット  
漕艇（カッター）  
陸上競技  
ラグビー  
男子バスケットボール  
女子バスケットボール  
男子バレーボール  
女子バレーボール  
テニス  
柔道  
野球  
サッカー  
バドミントン  
卓球  
剣道  
フリースタイルダンス

#### 体育系同好会

水泳

#### 文化系クラブ

新聞  
デジタルメディア創作  
吹奏楽  
メカトロ技術研究

#### 文化系同好会

茶道  
軽音楽  
ESS  
美術  
日本舞踊  
文芸  
アントレプレナー研究  
機関学  
書道  
写真



剣道



メカトロ技術研究



メカテック



漕艇（カッター）

## 福利厚生施設

### 本郷キャンパス

#### 学生ラウンジ・図書館前ロビー

図書館の1階にある学生ラウンジは、学生が勉強会をしたり、会議をしたり、セミナーを開いたりもできる多目的スペースです。このほかにも、図書館前ロビーなど、学生がゆったりとすごせるスペースも設けています。

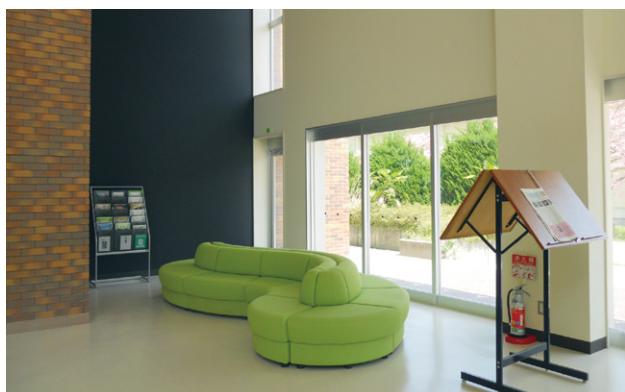
#### 竹明館

福利施設である本館1階には食堂と生協売店があるほか、1階と2階の各室は、学生会活動等、課外活動の場として、有効に利用されています。

また、本施設とは別に、課外活動のための宿泊施設として合宿研修所があります。



学生ラウンジ



図書館前ロビー



竹明館

### 射水キャンパス

#### 奈呉の浦会館

本会館1階南側に100席の食堂と館内中央ホールの一 cornerに談話コーナー、2階には多目的集会室、研修室、学生会室、美術室及び16畳の大きな和室があり茶道等の課外活動の場として有効に利用されています。また、本会館隣接地には、創立10年目を迎える生協売店が福利厚生 of 充実を目的に設置されており、快適な学生生活に寄与しています。



奈呉の浦会館前風景



売店



食堂

## ■ 学生相談室

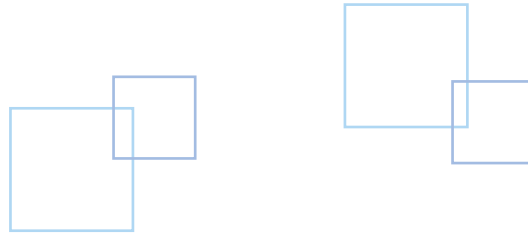
学生相談室には、室長、並びに相談員（教職員）、看護師、カウンセラー（臨床心理士）が配置されています。学業・進路、友人関係、クラブなど学校生活に関する相談、精神衛生に関する相談、個人的な問題など、スタッフが学生と一緒に解決の方法を考えます。また、学生だけでなく保護者からの相談も受けつけています。

各キャンパスの相談室の開室時間は以下の通りです。

本郷キャンパス			
学 生 相 談 室	月～金	相談員	15:30 – 17:00
	火・木・金	カウンセラー	10:00 – 17:00
	水	カウンセラー	13:00 – 17:00
学 生 寮	第二火曜日	カウンセラー	17:00 – 21:00
保 健 室	月～金	看護師	8:30 – 17:00
射水キャンパス			
学 生 相 談 室	火・金	相談員	15:30 – 17:00
	月・水	カウンセラー	10:00 – 17:00
	木	カウンセラー	13:00 – 17:00
保 健 室	月～金	看護師	8:30 – 17:00



学生相談室（本郷キャンパス）



学生相談室（射水キャンパス）

## ■ 学寮

学生の就学の便を図るため、学寮を設置しています。本郷キャンパスでは「**仰岳寮**」、射水キャンパスでは「**和海寮**」と呼ばれ、それぞれのキャンパスの学生を受け入れています。

この学寮は「教育寮」としての特徴を持ち、大学などの「任意寮」や下宿とは異なり、学生に生活の場を提供するだけでなく、本校教育の一環として、集団生活を通して社会の秩序と倫理を重んじる気風の醸成を目的としています。

また寮生相互の親睦を図るため、学生組織が主催する独自の年間行事が企画されています。それらを通して学寮には、家庭にはない友人との語りや先輩・後輩の付き合いがあり、人と人との触れあいの場ともなっています。

### 仰岳寮（本郷キャンパス）

令和2年5月1日現在

定員	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	合計
機械システム工学科		6( 2)	11( 5)	5 (1)	10	11 (1)	43( 7) (2)
電気制御システム工学科		13( 2)	11( 2)	9	7( 1)	9	49( 5)
物質化学工学科		10( 7)	10( 4)	12( 6)	10( 4) (1)	10( 6) (1)	52(27) (2)
エコデザイン工学専攻		1	1( 1)				2( 1)
合 計		30(11)	33(12)	26( 6) (1)	27( 5) (1)	30( 6) (2)	146(40) (4)

( ) は女子, < > は留学生で共に内数

### 和海寮（射水キャンパス）

令和2年5月1日現在

定員	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	合計
電子情報工学科		12( 3)	9( 1)	10( 2)	3( 2)	9( 2) (1)	43(10) (1)
国際ビジネス学科		17(13)	15(15)	15(14)	15(14)	13(10) (1)	75(66) (1)
商 船 学 科		27( 4)	24( 9)	20( 3)	11( 2)	12( 4)	94(22)
制御情報システム工学専攻							
国際ビジネス学専攻							
海事システム工学専攻							
合 計		56(20)	48(25)	45(19)	29(18)	34(16) (2)	212(98) (2)

( ) は女子, < > は留学生で共に内数

## 13 地域社会との連携

### ■技術振興会

富山高等専門学校技術振興会は、本校を拠点とした研究交流を通じて、産学官協働による知的資源の創造と地域経済の活性化に資するとともに、本校の教育に関して必要な助成を行うことを目的に設立されました。現在、会員は企業会員262社、個人会員17名です。  
(令和2年6月1日現在)

設立の経緯は、平成17年8月に技術振興会発起人会が立ち上がり、同年10月に設立の運びとなりました。平成21年10月に高度化再編し富山高等専門学校となってから同年12月の総会で現在の形となりました。歴代の会長は次の方々です。

- 初代：田中 一郎 田中精密工業株式会社／代表取締役社長  
(任期：平成17年10月24日～平成19年10月31日)
- 第2代：宮野 兼美 立山マシン株式会社／代表取締役社長  
(任期：平成19年11月1日～平成21年12月13日)
- 第3代：河村 孝一 朝日印刷株式会社／代表取締役社長  
(任期：平成21年12月14日～平成23年10月27日)
- 第4代：松田 登 ファインネクス株式会社／代表取締役社長  
(任期：平成23年10月28日～平成25年10月31日)
- 第5代：藤堂 利一 藤堂工業株式会社／代表取締役社長  
(任期：平成25年11月1日～平成27年11月2日)
- 第6代：濱 尚 朝日印刷株式会社／代表取締役社長  
(任期：平成27年11月3日～令和元年11月1日)
- 第7代：石崎 大善 株式会社アイザック／代表取締役社長  
(任期：令和元年11月2日～現在)

技術振興会の事業として、会員企業向け事業の例を次に示します。

#### ●講演会等の開催

- ・富山高等専門学校長賞雅寛而による「富山高等専門学校の教育体制整備」との演題で講演会(H29.11.2)を開催
- ・田辺工業株式会社 富山営業所長 金内 康氏、株式会社アイパック 相談役 高見 貞徳氏、株式会社エーティーワークス 社長室 土田 満氏、トヤマ商事株式会社 代表取締役 森実 智洋氏による「富山高等専門学校技術振興会のこれまでとこれから」をテーマとしたパネルディスカッション(H30.10.26)を開催
- ・ガラス造形作家 小島 有香子 氏による「地域とアート」との演題で講演会(R1.11.1)を開催

さらに、本校への技術振興会からの支援事業の例については次の通りです。

- 学生インターンシップ事業の支援
- キャリア教育・就職支援
- 会員企業と富山高専の学生との連携教育の実施
- 会員企業を富山高専の学生に紹介する企業研究会の開催
- 富山高専コーディネーターの産学官連携活動を支援
- 会員企業との共同研究に対する助成



講演会の様子



産学連携教育の様子

## ■公開講座（令和元年度実施）

講座名	開設分野	受講対象者	開設時期	募集人数
ロボットプログラミング体験 自分のプログラムでロボットを走らせよう！	機械系	中学生	8月3日～8月4日	15
真空砲-常識の壁を打ち破れ-	機械系	中学生	8月3日～8月4日	15
にじいろパワーストーンを用いたマグネット・インテリアを作ろう！	機械系	中学生	8月3日～8月4日	16
「歩行」とは何か？ ～人型ロボットを通じて体感する「動き」と「物理」～	電気・電子系	中学生	8月3日～8月4日	20
学んで遊ぼう！電子回路モノ作りとIoT用エナジーハーベスト体験	電気・電子系	中学生	8月3日～8月4日	15
3Dプリンターで新しいものづくりを体験しよう	電気・電子系	中学生	8月3日～8月4日	20
見て感じよう！光と色が織りなす化学と水質分析	情報系	中学生	8月3日～8月4日	20
天然の匂い成分を取り出そう☆アロマウォーターの作り方☆	情報系	中学生	8月3日～8月4日	16
巨大ロボットの作り方-巨大ロボットは大地に立つか？	機械系	中学生	11月16日～11月17日	20
ミッション：探査機を無事に着陸させよ	機械系	中学生	11月16日～11月17日	20
ロボットプログラムで迷路から抜け出そう！	機械系	中学生	11月16日～11月17日	10
中の人などいない！歩け！！二足歩行ロボット！！	電気・電子系	中学生	11月16日～11月17日	20
学んで遊ぼう！電子回路モノ作りとIoT用エナジーハーベスト体験	電気・電子系	中学生	11月16日～11月17日	15
3Dプリンターで新しいものづくりを体験しよう	電気・電子系	中学生	11月16日～11月17日	20
暮らしの悪臭を除去する物質の化学	物質系	中学生	11月16日～11月17日	16
色で判定！溶液中の金属イオン	物質系	中学生	11月16日～11月17日	16
コンピュータを組み立てよう ー今年は入れ換えてパワーアップー	情報系	中学生	8月23日	12
スマホアプリって自分で作れるの？	情報系	中学生	8月7日～8月9日	45
ロボットの頭脳とは～LEGOを使ったプログラミング実験～	情報系	中学生	8月7日～8月9日	48
電子情報まるわかり！ -電気電子・ネットワーク・プログラミングを体験-	電気・電子系	中学生	8月7日～8月9日	36
異文化について学ぼう	人文系	中学生	8月7日～8月9日	240
若潮丸体験航海（航海士・機関士の仕事）	商船系	中学生	8月7日～8月9日	120
English for Global Communication. -グローバルコミュニケーションのための英語-	人文系	中学生	8月7日	20
すぐに使える簡単な中国語会話！	人文系	中学生	8月8日	16
リスニングに強くなる英語発音講座	人文系	中学生	8月9日	25
空中の電波を見てみよう-電池無しでLEDの点灯実験-	電気・電子系	中学生	11月10日及び11月17日	30
Webアプリケーションの作成体験-商品購入のWebページ作り-	情報系	中学生	11月10日及び11月17日	32
異文化について学ぼう-学生の体験談を通じて異文化について学ぶ-	人文系	中学生	11月10日及び11月17日	160
ビジネスの学習を体験しよう	人文系	中学生	11月10日及び11月17日	160
船の仕事をみてみよう-海と船を学ぶ-	商船系	中学生	11月10日	35
シミュレーターで巨大船を動かそう-船の動きを学ぶ-	商船系	中学生	11月17日	20
エンジンを組み立てて動かそう-構造と動きを学ぶ-	商船系	中学生	11月17日	20
ひらめきときめきサイエンス	物質系	小・中学生	8月19日～8月20日	40

## ■出前授業（令和元年度実施）

講座名	開設分野	受講対象者	開設時期	募集人数
たまごを守れ！	機械系	小・中学生	6月29日	40
LEGOを使ったロボットプログラミング実習	電気・電子系	小学生	9月21日	60
放射線の基礎とその応用	電気・電子系	中学生	10月2日	50
金と宝石の化学	物質系	中学生	11月7日	49
コミュニケーションに役立つ表現力を身につけよう！	人文系	中学生	12月3日	40

# 14 研究活動

## ■ 科研費採択状況

□ 文部科学省科学研究費助成事業

種目	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
基盤研究（A）	件数	0	0	1	1	0
	金額	0	0	11,700	14,040	0
基盤研究（B）	件数	1	1	1	1	1
	金額	2,340	2,730	1,950	5,850	4,030
基盤研究（C）	件数	16	22	26	24	26
	金額	28,210	35,880	32,370	28,990	38,870
挑戦的萌芽研究※1	件数	5	4	3	1	0
	金額	9,620	3,640	3,120	780	0
若手研究（B）※1	件数	7	6	7	4	2
	金額	11,830	7,150	12,090	3,640	1,950
若手研究※2	件数				1	3
	金額				910	2,470
研究活動スタート支援	件数	3	1	0	0	0
	金額	3,510	1,170	0	0	0
特別研究員奨励費	件数	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0
奨励研究	件数	2	2	2	1	2
	金額	1,100	1,140	780	530	1,080
合計	件数	34	36	40	33	34
	金額	56,610	51,710	62,010	54,740	48,400

金額単位：千円 間接経費含む ※1 平成30年度より新規募集停止 ※2 平成30年度より新規募集開始

## ■ 共同研究実施状況

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	61	51	67	66	59
金額	14,660	19,764	19,112	18,572	26,066

金額単位：千円

## ■ 受託研究実施状況

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	10	10	5	10	13
金額	28,553	6,264	3,029	5,841	9,940

金額単位：千円 間接経費含む

## ■ 寄附金受入状況

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	356	29	28	32	23
金額	30,909	28,646	51,070	32,095	27,823

金額単位：千円



# 15 国際交流活動

## 国際学術協定校

### □ 米国・ハワイ大学

#### カウアイコミュニティカレッジ

平成21年10月、本校と米国ハワイ州のカウアイコミュニティカレッジ（KCC）と協約書が交わされ、また平成22年11月には、商船学科を設置している4つの高等専門学校を加えて全国5高専による包括協定が締結され、教員を対象として国際交流プログラムの推進や海事に関する専門知識の共有と向上、技術及び教育における連携を進めています。

現在、本校学生がKCCにおいて国際インターンシップや英語圏異文化実習を受講する一方で、KCCの学生も本校へ短期留学するなど、盛んな交流を行っています。

### □ 英国・北アイルランド

#### サウスイースタン地区連合カレッジ

英国北アイルランドサウスイースタン地区連合カレッジ(SERC)とは、平成22年3月に交流協定書に調印し、専攻科の国際インターンシップを行っています。現在も教員の相互訪問を続けながら国際交流活動を推進しています。

### □ ハンガリー・ハンガリー科学アカデミーMFA、パズマニー・ペーテルカトリック大学PPCU、ブタペスト工科経済大学BME

平成27年、ブタペスト市内の上記3つの研究機関、MFA、PPCU、BMEとの国際学術協定を締結しました。

MFAはハンガリー科学アカデミーの下部組織で、欧州内でも研究レベルの高い機関として、ナノ材料やナノシステムなどの研究を行っています。PPCUは360年の歴史を有するハンガリー最古の大学の一つであり、現在は情報工学と生体工学を柱とした21世紀の産業を担う学術領域の立上げを目指しています。BMEはハンガリー最大の大学であり、世界中のトップ企業とも共同研究を進めている学際性、国際性に優れた大学です。

今後、研究者および学生の交流を促進させ、連携を通じた本校の研究・教育の発展をめざします。

### □ タイ・キングモンクット工科大学ラカバン校

国立高等専門学校機構の包括協定校であるタイ・キンクン校を含んでいます。また同大学から教員を招へいし、学生向け講義を実施したり、年1回程度、国際共同セミナーを実施したりしています。

### □ タイ・ランブーン農業技術カレッジ

平成27年に交流協定を締結しました。本校の学生とペアを組み、タイにある日系企業でインターンシップを行う枠組みでの交流を実施しております。

### □ 中国・東北大学

東北大学(中国遼寧省瀋陽市)との国際学術交流は本校の前身の一部である富山工業高等専門学校が平成15年12月に協定を締結したことに始まります。本校の統合に伴い、より深化した国際交流を目的として平成22年10月に再調印しました。

東北大学は、中国でトップクラスの実力を有し、国家重点大学の一つです。これまで、東北大学研究者の中期招聘研究交流、本校教員の長期海外研究員派遣、国際共同セミナーの実施等が行われています。

### □ シンガポール・テマセクポリテクニク、ナンヤンポリテクニク

両校とは、平成23年、25年にそれぞれ交流協定を締結しており、主として短期留学生の受入による交流を継続的に実施しております。

### □ フィンランド・ヴァーサ・リュセオ高等学校

平成29年に交流協定を締結しました。現在、主に低学年の学生交流を実施しております。



キングモンクット工科大学からの短期留学生と本校学生の交流学習



KCCでのカヌー実習



SERC学長の表敬訪問



SERCでのロボット制御実習

## ■海外研修プログラム

学生の異文化体験と英語力の向上、さらには海外での実務経験を目的とする海外研修プログラムが平成18年より開始されました。海外研修プログラムの開設に先立っては、研修相手校との協定締結や、本校教員による研修中の支援体制の整備など、安全かつ円滑な海外研修の実施に配慮しています。

### □1年留学プログラム

平成18年にカナダ西海岸のナナイモ市にあるバンクーバーアイランド大学附属高校との間に留学に関する協定を結び、平成20年4月より1年間の留学プログラムを実施しています。



バンクーバーアイランド大学附属高校留学中の学生

### □半年留学プログラム

平成17年に留学に関する協定を結び、平成18年4月より、異文化体験と英語研修を行っています。国際ビジネス学科の4年生を対象に、カナダ西海岸のビクトリア市にあるビクトリア大学イングリッシュ・ランゲージ・センターで約5ヶ月活動するプログラムです。



ビクトリア大学イングリッシュ・ランゲージ・センター留学中の学生

### □異文化実習

研修先 韓国、台湾、ロシア、米国(カリフォルニア州、ハワイ州)の各教育機関

対象 本科3～5年生(但し、米国は本科2～5年生)

期間 3～4週間

内容 語学やそれぞれの国の文化等を学ぶ実習

### □米国・ハワイ州国際インターンシップ

研修先 ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジ  
(平成21年交流協定締結)

対象 専攻科生(海事システム工学専攻)・本科3～5年生(商船学科)

期間 2～3週間

内容 ポリネシア伝統航海術等の海事技術研修・語学訓練

### □英国・北アイルランド国際インターンシップ

研修先 現地企業・サウスイースタン地域連合カレッジ(平成22年交流協定締結)

対象 専攻科生(国際ビジネス学専攻・制御情報システム工学専攻)

期間 4週間

内容 国際ビジネス専攻：企業実習・カレッジでの専門講習(各2週間)

工学系専攻：語学研修・実務訓練(各2週間)

### □東南アジア海外インターンシップ

研修先 県内企業のタイ・マレーシア現地法人

対象 専攻科生・本科4年生

期間 2～3週間

内容 実務研修

### □アカデミック インターンシップ

研修先 ハンガリー、タイの大学・研究機関

対象 専攻科生

期間 4週間程度

内容 研究室に配属し、提携校・期間の指導教員の下で各自の研究課題に取り組む

## ■短期留学生受入

国立高等専門学校機構との包括協定に基づき、平成24年4月より、タイ・キングモンクット工科大学ラカバン校から短期留学生を受け入れています。平成25年8月には本校と交流協定を締結し、受け入れ人数をさらに増やして交流を拡大しています。

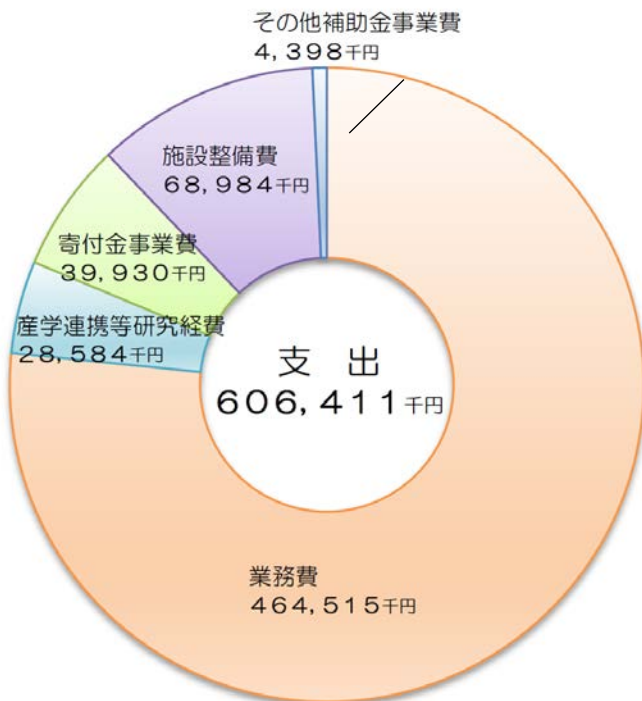
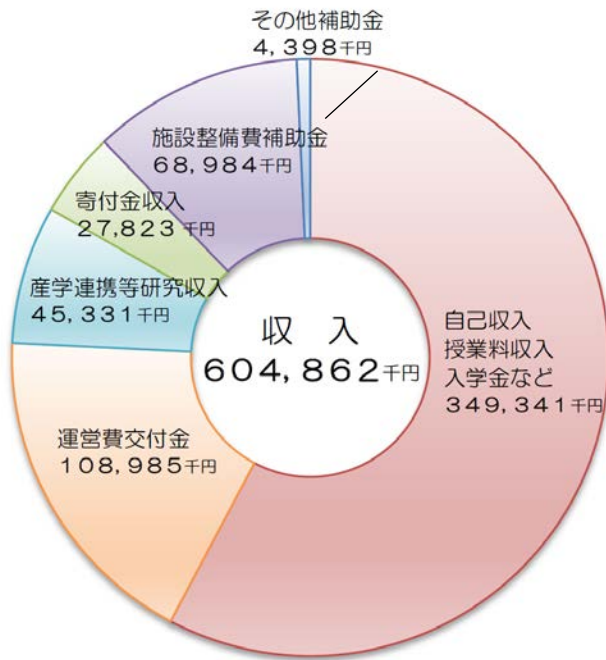
また、国立高等専門学校機構の包括提携校であり、本校の交流提携校でもあるシンガポール・テマセクポリテクニク及びナンヤンポリテクニクからも、短期留学生を受け入れています。



高専祭に参加している留学生

# 16 財務状況

## 令和元年度予算



## 施設

### [本郷キャンパス]

区分	団地名	本郷団地	旭団地	計
土地	校舎敷地	55,472		55,472
	屋外運動場敷地	36,561		36,561
	寄宿舍敷地	12,535		12,535
	職員宿舍敷地	2,863	365	3,228
	合計	107,431	365	107,796

(単位：㎡)

区分	団地名	本郷団地	旭団地	計
建物	校舎	13,973		13,973
	体育館	3,674		3,674
	寄宿舍	4,493		4,493
	図書館	1,633		1,633
	福利施設	1,227		1,227
	管理部	1,483		1,483
	その他	1,023		1,023
	設備室	245		245
	職員宿舍 (戸数)	789 (12)	105 (1)	894 (13)
	合計	28,540	105	28,645

(単位：㎡)

### [射水キャンパス]

区分	団地名	海老江練合団地	堀江千石団地	計
土地	校舎敷地	45,336		45,336
	屋外運動場敷地	41,703		41,703
	寄宿舍敷地	15,808		15,808
	実験実習地		11,232	11,232
	職員宿舍敷地	6,962		6,962
合計	109,809	11,232	121,041	

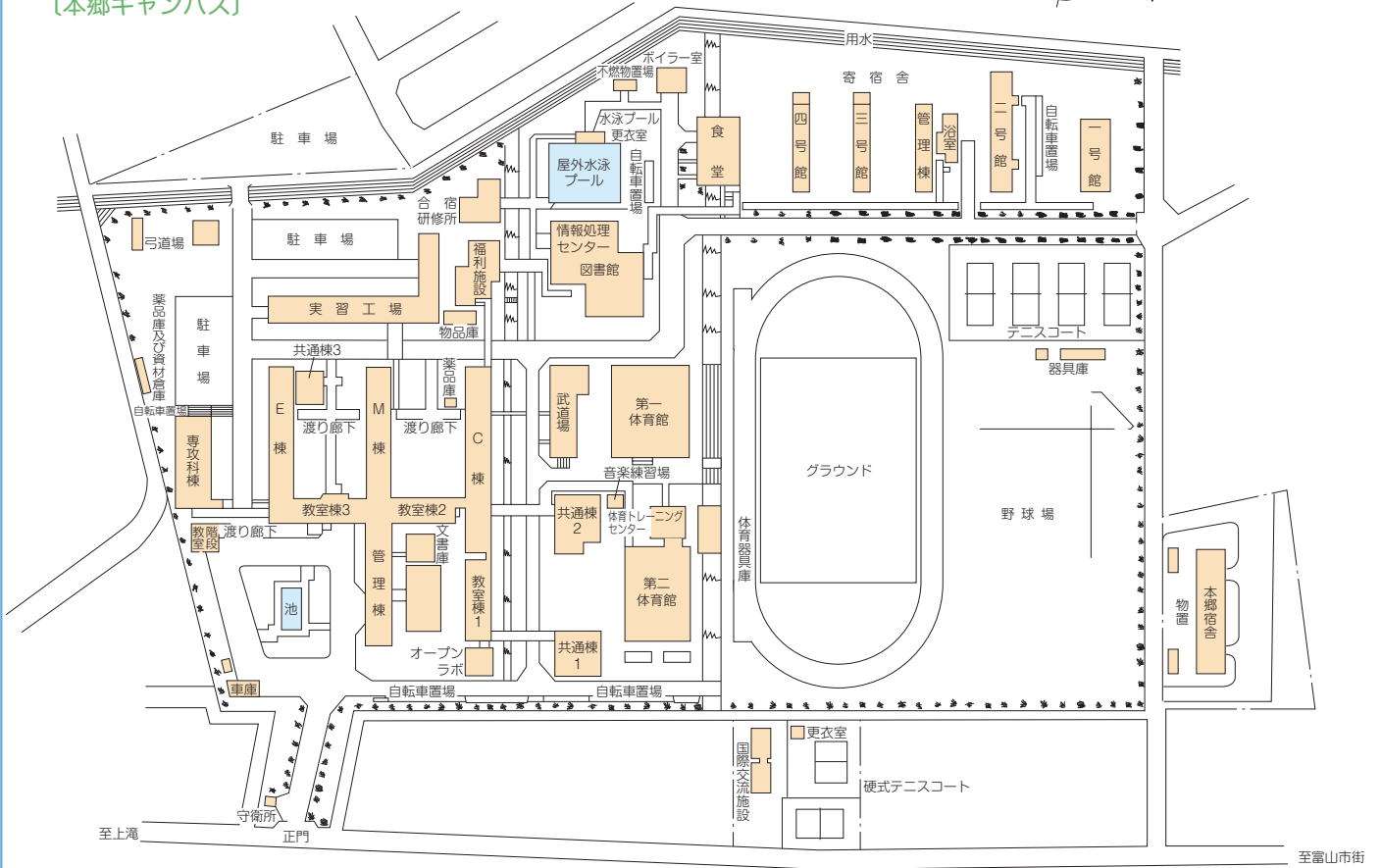
(単位：㎡)

区分	団地名	海老江練合団地	堀江千石団地	計
建物	校舎	14,099	1,423	15,522
	体育館	3,031		3,031
	寄宿舍	7,029		7,029
	図書館	1,626		1,626
	福利施設	1,347		1,347
	管理部	1,537		1,537
	その他	996		996
	設備室	399		399
	職員宿舍 (戸数)	639 (9)		639 (9)
	合計	30,703	1,423	32,126

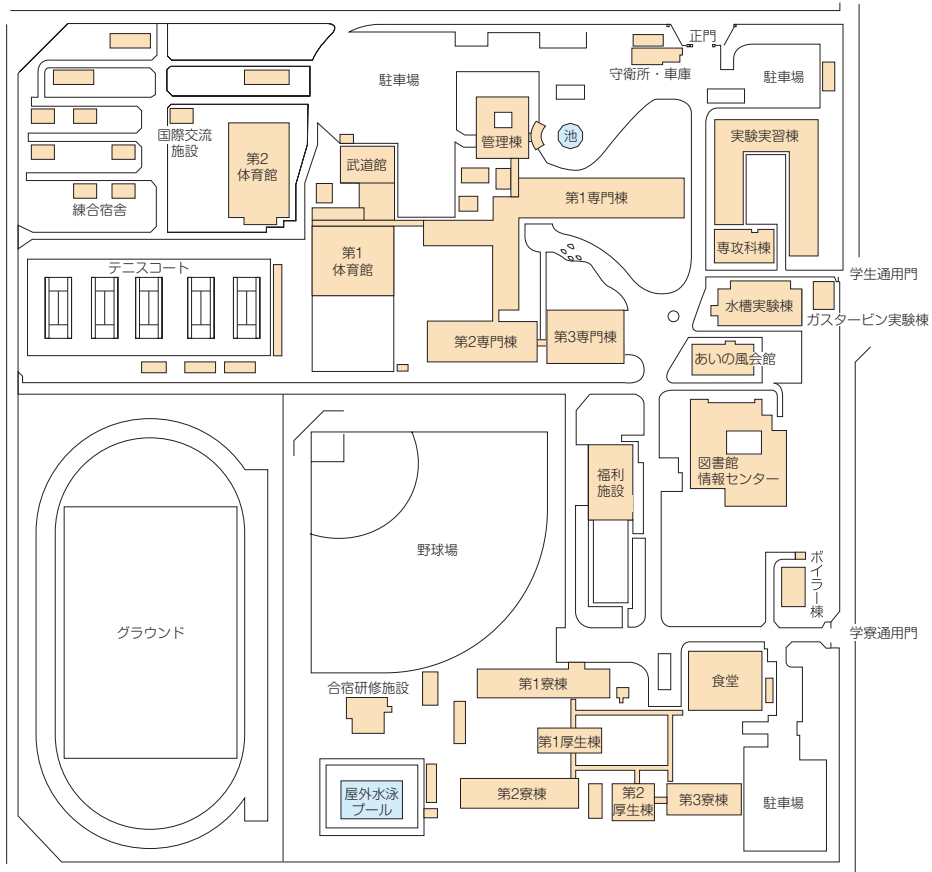
(単位：㎡)

# ■ キャンパスマップ

[本郷キャンパス]



[射水キャンパス]



臨海実習場の配置図はP39にあります。

# 17 在学状況

## ■学生の定員と現員

〔本郷キャンパス〕

令和2年5月1日現在

定員	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	専攻科 1学年	専攻科 2学年	合計
機械システム工学科	40名	42 (4)	40 (8)	39 (3) ①	40 (2)	44 (3) ①			205 (20) ②
電気制御システム工学科	40名	43 (6)	46 (8)	37 (1)	44 (5)	43 (3)			213 (23)
物質化学工学科	40名	41 (21)	44 (22)	40 (23)	40 (19) ①	46 (23) ①			211 (108) ②
エコデザイン工学専攻	24名						26 (6)	28 (7)	54 (13)
合計		126 (31)	130 (38)	116 (27) ①	124 (26) ①	133 (29) ②	26 (6)	28 (7)	683 (164) ④

注1 ( )内数字は、女子学生数を内数で示す。 注2 ○内数字は、外国人留学生数を内数で示す。

〔射水キャンパス〕

令和2年5月1日現在

定員	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	実習生	専攻科 1学年	専攻科 2学年	合計
電子情報工学科	40名	43 (10)	44 (11)	45 (10)	43 (14)	42 (11) ①				217 (56) ①
国際ビジネス学科	40名	43 (38)	41 (40)	40 (38)	40 (35)	41 (28) ①				205 (179) ①
商船学科 航海コース	20名	42 (10)	21 (10)	21 (4)	19 (6)	21 (7)	21 (7)			244 (62)
40名 機関コース	20名		22 (7)	20 (4)	25 (4)	16 (2)	16 (1)			
制御情報システム工学専攻	8名							13 (4)	15 (3)	28 (7)
国際ビジネス学専攻	4名							5 (5)	6 (6)	11 (11)
海事システム工学専攻	4名							5 (2)	4 (2)	9 (4)
合計		128 (58)	128 (68)	126 (56)	127 (59)	120 (48) ②	37 (8)	23 (11)	25 (11)	714 (319) ②

注1 ( )内数字は、女子学生数を内数で示す。 注2 ○内数字は、外国人留学生数を内数で示す。

## ■出身地別在学生数

〔本郷キャンパス〕

令和2年5月1日現在

所在地	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	専攻科 1学年	専攻科 2学年	合計
富山県		124 (30)	126 (36)	110 (26)	122 (25)	128 (28)	26 (6)	28 (7)	664 (158)
石川県		1	1	2					4
千葉県						1			1
埼玉県				1					1
新潟県		1 (1)							1 (1)
長野県			1 (1)						1 (1)
岐阜県			1	2 (1)	1	1 (1)			5 (2)
静岡県			1 (1)						1 (1)
大阪府						1			1
外国				1	1 (1)	2			4 (1)
合計		126 (31)	130 (38)	116 (27)	124 (26)	133 (29)	26 (6)	28 (7)	683 (164)

( )は、女子で内数

〔射水キャンパス〕

令和2年5月1日現在

所在地	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	実習生	専攻科 1学年	専攻科 2学年	合計
富山県		95 (46)	100 (50)	105 (48)	114 (52)	108 (41)	26 (6)	20 (9)	24 (11)	592 (263)
石川県		8 (5)	5 (3)	4 (3)	4 (3)	3 (3)				24 (17)
北海道							1			1
青森県			1 (1)				2			3 (1)
宮城県		2 (1)			1	1				4 (1)
山形県		1			1 (1)		1 (1)	1 (1)		4 (3)
福島県			1 (1)		1	1		1 (1)		4 (2)
茨城県			2 (1)	1						3 (1)
群馬県		1			1					2
千葉県		1								1
埼玉県				1			1			2
東京都		1	5 (1)							6 (1)
神奈川県			1 (1)	3	1 (1)					5 (2)
新潟県		2	1 (1)	2 (1)		1 (1)	4 (1)			10 (4)
福井県									1	1
長野県		3 (2)	1 (1)	1			1			6 (3)
岐阜県		8 (3)	3 (3)	2 (1)	2 (1)	1 (1)				16 (9)
静岡県		1 (1)	1 (1)	1						3 (2)
愛知県				1						1
三重県		1					1			2
滋賀県			2 (2)	1 (1)		1 (1)				4 (4)
京都府			1							1
大阪府		2	1		1			1		5
兵庫県		1	2 (1)	3 (1)		1				7 (2)
山口県				1 (1)						1 (1)
香川県					1 (1)					1 (1)
福岡県		1								1
熊本県			1 (1)							1 (1)
長崎県						1				1
外国						2 (1)				2 (1)
合計		128 (58)	128 (68)	126 (56)	127 (59)	120 (48)	37 (8)	23 (11)	25 (11)	714 (319)

( )は、女子で内数

# 18 進路状況

求人倍率も就職率も高いのが、富山高等専門学校の特徴です。産業界に高く評価され、卒業生・修了生は県内外の企業や官公庁で活躍しています。

また、卒業後は4年制大学の3年次（一部2年次）に編入学できます。本校をはじめとする高等専門学校の専攻科（2年制）にも進学できます。これまで卒業生の約半数が、進学の道を選択しています。

## 進学

### 機械システム工学科

**国立** 富山高等専門学校専攻科、秋田大学、東北大学、千葉大学、東京大学、東京工業大学、東京農工大学、横浜国立大学、新潟大学、長岡技術科学大学、富山大学、金沢大学、福井大学、信州大学、名古屋大学、豊橋技術科学大学、三重大学、京都工芸繊維大学、大阪大学、岡山大学、山口大学、琉球大学

### 電気制御システム工学科

**国立** 富山高等専門学校専攻科、東北大学、筑波大学、群馬大学、千葉大学、電気通信大学、横浜国立大学、新潟大学、長岡技術科学大学、富山大学、金沢大学、名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、

**公立** 高崎経済大学、東京都立大学、大阪公立大学

**私立** 早稲田大学

### 物質化学工学科

**国立** 富山高等専門学校専攻科、北海道大学、東北大学、群馬大学、千葉大学、東京工業大学、東京農工大学、新潟大学、長岡技術科学大学、富山大学、金沢大学、福井大学、信州大学、名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、岐阜大学、京都工芸繊維大学、大阪大学、奈良女子大学、岡山大学、九州大学

**公立** 高崎経済大学、東京都立大学、大阪公立大学

### 電子情報工学科

**国立** 富山高等専門学校専攻科、筑波大学、宇都宮大学、千葉大学、東京大学、電気通信大学、新潟大学、長岡技術科学大学、富山大学、金沢大学、信州大学、静岡大学、豊橋技術科学大学、広島大学、熊本大学、鹿児島大学

### 国際ビジネス学科

**国立** 富山高等専門学校専攻科、北海道大学、筑波大学、埼玉大学、お茶の水女子大学、東京外国語大学、新潟大学、富山大学、金沢大学、信州大学、名古屋大学、滋賀大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、奈良女子大学、広島大学、香川大学、九州大学、鹿屋体育大学

**公立** 大阪公立大学

**私立** 駒澤大学、上智大学、中央大学、日本大学、明治大学、南山大学、京都女子大学、大阪経済大学、関西外国語大学

**外国** 北京語言大学、アーカンソー大学（州立）

### 商船学科（航海コース）

**国立** 富山高等専門学校専攻科、鳥羽商船高等専門学校専攻科、秋田大学、東京海洋大学、長岡技術科学大学、神戸大学、鹿屋体育大学

### 商船学科（機関コース）

**国立** 富山高等専門学校専攻科、東京海洋大学、長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、神戸大学、鹿屋体育大学

### エコデザイン工学専攻

**国立** 東北大学大学院、筑波大学大学院、千葉大学大学院、東京大学大学院、電気通信大学大学院、東京工業大学大学院、横浜国立大学大学院、長岡技術科学大学大学院、富山大学大学院、金沢大学大学院、北陸先端科学大学院大学、信州大学大学院、名古屋大学大学院、名古屋工業大学大学院、豊橋技術科学大学大学院、京都工芸繊維大学大学院、大阪大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、和歌山大学大学院、九州工業大学大学院

**公立** 富山県立大学大学院

### 制御情報システム工学専攻

**国立** 東北大学大学院、東京工業大学大学院、長岡技術科学大学大学院、金沢大学大学院、豊橋技術科学大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学

**公立** 大阪公立大学大学院

### 国際ビジネス学専攻

**国立** 北陸先端科学技術大学院大学



## 就職

### 機械システム工学科

YKK、YKK AP、トヨタ自動車、SUBARUテクノ、日産オートモーティブテクノロジー、川崎重工業、三菱重工業、三菱電機エンジニアリング、小松製作所（コマツ）、JR東海、JR東日本、ANAラインメンテナンステクニクス、スギノマシン、北陸電力、中越合金鋳工、日本ゼオン、不二越、モビテック、ダイキン工業、ファインネクス、朝日印刷、昭和電工セラミックス、立山科学グループ、セイコーエプソン、日本特殊陶業、田辺工業、リッチェル、TSK、出光興産、花王、サントリースピリッツ、大塚製薬工場、ミユキ化成、浜松ホトニクス、富士フィルムビジネスエキスパート、リードケミカル、アステラスファーマテック、シロウマサイエンス、日本オープンシステムズ

### 電気制御システム工学科

北陸電力、中部電力、関西電力、日本原子力研究開発機構、国立印刷局、JR東海、JR西日本、JR貨物、あいの風とやま鉄道、NTTデータ、NHKメディアテクノロジー、KNB・F、ソニーGM&O、パナソニックアプライアンス社、YKK、マツダ、SUBARUテクノ、日産エンジニアリング、ANAラインメンテナンステクニクス、浜松ホトニクス、セイコーエプソン、ダイダン、ヤマザキマザック、不二越、富山村田製作所、立山科学グループ、KOKUSAI ELECTRIC、ファインネクス、シキノハイテック、日本オーチス・エレベータ、三菱電機ビルテクノサービス、出光興産、日本ゼオン、ダイキン工業、日本空調北陸、北陸電気工業、北陸電気工事、田辺工業、キタムラ機械、三晶MEC

### 物質化学工学科

花王、資生堂、アステラスファーマテック、協和ファーマケミカル、クラシエ製薬、大塚製薬工場、立山製薬工場、東亜合成、大和薬品工業、十全化学、東亜薬品、富山化学工業、金剛化学、第一三共プロファーマ、デンカ、前田薬品工業、アイザック、富山小林製薬、三井化学分析センター、日東メディック、日本曹達、丸善石油化学、出光興産、サントリーグループ、雪印メグミルク、YKK、日清紡メカトロニクス、日本ゼオン、三晶MEC、ファインネクス、立山科学グループ、キタノ製作、昭北ラミネート、中越パルプ工業、北陸電気工業、昭和電工、日東電工、ダイキン工業、関西電力、東京都下水道サービス

### 電子情報工学科

NTTフィールドテクノ、KDDIエンジニアリング、北陸コンピュータ・サービス、KOKUSAI ELECTRIC、DMM.comラボ、パナソニックシステムソリューションズジャパン、トヨタシステムズ、日本オープンシステムズ、アルファシステムズ、北銀ソフトウェア、高志インテック、富士ソフト、富士通ネットワークソリューションズ、中部電力、関西電力、北陸電力、北電テクノサービス、北電情報システムサービス、シキノハイテック、NHKメディアテクノロジー、日立ビルシステム、明和eテック、ビーネックスソリューションズ、日本システムワープ、マイスターエンジニアリング、JR東日本、JR西日本、東亜合成、不二越、YKK、YKK AP、国立印刷局、日揮、セイコーエプソン、コマツNTC、立山科学グループ、メンバーズ、サントリーブロダクツ、北陸電気工事、三和工機

### 国際ビジネス学科

内閣府、法務省、外務省、財務省、経済産業省、国土交通省、国立大学法人東京大学、国立大学法人富山大学、富山県庁、富山県警察、富山市役所、新川地域消防組合、東京都庁、東京地方検察庁、東京都下水道サービス、北陸銀行、富山第一銀行、北陸電力、中部電力、JALスカイ、ホテルオークラ東京ベイ、キタムラ機械、YKK、不二越、コマツキャストックス、立山科学グループ、鴻池運輸、ジャパンメディック、タイヨーパッケージ、シルバー印刷、ファインネクス、東洋電機製作所、北陸発電工事、石友ホーム、クスリのアオキ、ワシントン靴店、東洋信号通信社、エージーピー

### 商船学科（航海コース）

日本郵船、商船三井、川崎近海汽船、佐渡汽船、ダイトーコーポレーション、日本海運、日本通運、五栄土木、福寿船舶、新日本海フェリー、ニッスイマリン工業、名港海運、邦洋海運、鹿児島船舶、旭海運、東海運、エスオーシーマリン、MOLオーシャンエキスパート、日本海洋掘削、オーシャントランス、クルーズプラネット、明和タンカー、日本海曳船、上野トランステック、宇徳、NTT-WEマリン、第一中央内航、太洋日本汽船、日東物流、日本港運、宇部興産海運、海上保安庁、富山県農林水産総合技術センター、三協、アクテック、成山堂書店、Unix Line Pte Ltd

### 商船学科（機関コース）

日本郵船、日本郵船グループ、商船三井、商船三井客船、商船三井フェリー、商船三井オーシャンエキスパート、川崎汽船、川崎近海汽船、佐渡汽船、共栄マリン、ニッスイマリン工業、川近シップマネージメント、五栄土木、新日本海フェリー、NSユナイテッド海運、JXオーシャン、日本通運、大洋産業貿易、ボルテック、新潟造船、日本海曳船、福寿船舶、バルチラジャパン、宇部興産海運、フィリペバーコ、海上保安庁、YKK、朝日工業社、東洋ガスメーター、出光興産、新日軽北陸、北陸発電工事、東レ、北菱電興、ダイキン工業、ヤンマーエネルギーシステム



## エコデザイン工学専攻

---

スギノマシン、KOKUSAI ELECTRIC、アイザック、朝日印刷、東ソー・ゼオラム、日東メディック、YKK、YKK AP、SUBARUテクノ、不二越、ファインネクス、アイシン新和、石金精機、救急薬品工業、ソニー GM&O、JR東海、三協立山、住友化学、SMK、十全化学、サンエツ金属、立山科学グループ、田中精密工業、中越合金鋳工、日本曹達、富士薬品、日本原子力発電、サントリープロダクツ、富山富士通、日産エンジニアリング

## 制御情報システム工学専攻

---

セイコーエプソン、富士通、インテック、日立国際電気、明和eテック、国際電気セミコンダクターサービス、コマツNTC、不二越、北銀ソフトウェア、ソニー、日立製作所、ヤフー、NTTデータ、富士通ネットワークソリューションズ、ANAベースメンテナンステクニクス、高エネルギー加速器研究機構、アジアクエスト、東京ウエルズ、富士電機、メトロ、KSF、日揮、リデル、ソニーエンジニアリング、日立情報通信エンジニアリング、PFU、ネオシステム、メディアシーク、DMG森精機、日本ソフテック

## 国際ビジネス学専攻

---

SEALS、市民プラザ、ソフト、日テレ アックスオン、富山第一銀行、マイナビ、NTTビジネスソリューションズ、SMK、YKK、朝日印刷、黒田化学、ジョンソンコントロールズ、立山科学グループ、チタカ・インターナショナル・フーズ、日清工業、リゾートトラスト

## 海事システム工学専攻

---

国土交通省、川崎汽船、日本通運、YKK、旭タンカー、鶴見サンマリン、日本海洋掘削、エスオーシーマリン、三徳船舶、正栄汽船、日清工業、寺崎電気産業、ユニバーサルワーカーズ 軍艦島コンシェルジュ

## ■ アクセスマップ



### 本郷キャンパス

〒939-8630 富山県富山市本郷町 13  
TEL:076-493-5402 FAX:076-492-3859

- バス/富山駅南口バスターミナル 5 番乗り場から「国立高専」行きに乗車～約 30 分～国立高専前 [終点] 下車、徒歩 0 分
- 電車/電鉄富山駅からの場合  
「岩峯寺」行きに乗車～約 14 分～小杉駅下車、徒歩 15 分  
岩峯寺駅からの場合  
「電鉄富山」行きに乗車～約 15 分～布市駅下車、徒歩 15 分

### 射水キャンパス

〒933-0293 富山県射水市海老江練合 1 の 2  
TEL:0766-86-5100 FAX:0766-86-5130

- バス/富山駅南口バスターミナル 3 番乗り場から「新港東口」行きに乗車～約 30 分～「練合」下車、徒歩 2 分  
富山駅北口バスターミナル 2 番乗り場から「国立高専射水」行きに乗車～約 40 分～「国立高専射水」(終点) 下車  
高岡駅北口バスターミナル 4 番乗り場から「富山高専」行きに乗車～約 45 分～「富山高専」(終点) 下車
- コミュニティバス/射水市のコミュニティバスも利用可

<https://www.nc-toyama.ac.jp>